新京日日新聞
夕刊
三月二十八日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

植田新軍司令官着京

仰ぐ慈父の如き溫容 日滿官民心から信賴

驛頭に交す南大將と無言の握手に

滿洲國の前途愈よ輝し

◇寫眞は新京驛前で乘車する植田將軍

關東軍司令官、駐滿大使の重責を双肩に勇躍赴任の途に上つた陸軍大將植田謙吉氏は二十七日奉天ヤマトホテルに大陸の一夜を明かし廿八日午前九時十五分奉天驛を發車、出迎への板垣參謀長、東條憲兵隊司令官、大野關東局總長等から沿線の狀況を聽取しつゝ途中各驛に出迎への日滿各機關代表に一々溫い擧手の禮をかへしつゝ四平街からは滿鐵總裁松岡洋右氏が乘り込み車內は我が大陸政策の首腦者で埋められ春日のやうな談笑のうちに列車は午後二時靜かに新京驛に辷り込み國都に晴れの第一歩を印した

◇

この日新京の空は春色駘蕩陽光燦々と降りそゝぎ絶好の將軍日和である、淸掃された驛第三ホームには到着二十分前より南前軍司令官、西尾參謀次長、濱田駐滿海軍部司令官關東軍各幕僚、在京各部隊長大使館參事官、關東局各部長滿洲國張總理を始め各部大臣長岡總務廳長、臧參議府議長以下各參議、侍從武官長張海鵬上將、其他各要人、滿鐵新京駐在理事河本大作氏、新京特別市長韓雲階氏、新京地方事務所長武田胤雄氏を始め滿鐵各個所長、大原地方委員會議長、五十嵐鄕軍聯合分會長電々總裁山內靜雄氏、電業會社々長吉田豐彥氏、其他各機關代表者が續々とつめかけ驛本屋側第一ホームには各種團體代表が威儀を正して整列驛前廣場から軍司令部に到る中央通りの兩側には在京部隊在鄕軍人、國防婦人會、日滿中小學校生徒兒童、日滿少年團、滿鐵社員、一般市民等整列して列車の到着今や遲しと待つ間程なく殷々たる二十一發の禮砲轟くうちに將軍列車は定刻午後二時新京驛第三ホームにぴたりと停車した

◇

數々の武勳を胸間に輝かせる植田大將は溫容の中にも毅然たる決意の色をほのめかし河邊大佐、園田少佐、渡邊副官を隨へ、稻川驛長の先導にて列車最後部の特別車より力強き第一歩をプラットフォームに降り立つた、この時張軍樂隊長の指揮する滿洲國軍樂隊は『將官禮式』を吹奏する中を出迎への南前軍司令官と植田新司令官の双方感懷に云ひ知れぬ笑をふくんだ顔と顔が接近する、期せずがつちり握られた兩將軍の手は幾分うちふるへてゐる、正に劇的のシーンである

◇

溫情慈父の如き將軍は日滿要人に一々擧手の禮をかへしつゝ地下道を第一ホームに出でこゝに整列せる各種團體代表者にも又一々溫い擧手の禮をかへしつゝ驛貴賓室に入り少憩、濱田駐滿海軍部司令官、張滿洲國々務總理を始め滿洲國各參議張外交部大臣、長岡總務總長、中野總領事代理、河本滿鐵理事、武田地方事務所長、五十嵐鄕軍聯合會長、大原地委議長、石崎商議會頭、淸水居留民會長金朝鮮人民會長、小松區長代表、矢澤敎育者代表、吉田電業社長、山內電々總裁等に面接、軍司令部差廻しの自動車に乘車各隨員を從へ驛前から中央通西公園前まで沿道兩側に堵列歡迎せる在京部隊、在鄕軍人日滿各學校生徒兒童、滿鐵社員、各種團體、一般市民に一々擧手の禮をかへしつゝ午後二時十分官邸に入つた

有田大使參內 皇帝陛下に拜謁

昨夜來京した有田大使は本日午前八時半宿舍ヤマトホテルに於て南大將と會見を終つたが、同十一時半宮中に參內、皇帝陛下に拜謁を賜り、引續き午餐御陪食の榮を賜り午后一時半宮中を退下、宿舍ヤマトホテル、へ歸還、同五時には本日着京の植田新軍司令官々邸に於て會見、終つて幕僚と會談する筈

"言葉の多い世の中だ 不言實行で進む"

植田司令官着任談

植田軍司令官は特別列車において出迎への記者に左の如き着任談をなした

一昨日入滿以來各地に於る多大な歡迎に對し感謝に堪えない、この絶大なる歡迎は自分に對する期待の重いのを痛感せしめるもので着任後は最善の努力を擧げて重責を果したいと思つてゐる、日滿兩國民の理解と援助を求めねばならないがこの機會に國都における新聞通信記者諸君に對し國政その他に關し御盡力を御願ひしておく、殊に日本內地における對滿關心が最近薄らいでゐることを痛感してゐる者でこの點についても諸君の協力にまつところ多大である

滿鐵改組問題は急激に行ふべき問題ではない大きな歷史と多數の人員を抱擁する機關であるから大局的見地から情勢の變化に應じて愼重に行ふべきで理論的に云々すべきではない在來の滿鐵に對しては理論的には改組といふことが云へるかも知れぬが、その方法時期は未決の問題である、又松岡總裁の更迭については自分は何も聞いてゐないし軍司令官が更つたからといつて滿鐵總裁が更らねばならないといふ建前もない

滿洲國の國內問題については全く白紙である、大體言葉の多い世の中だ、不言實行は僕の信條だから大言壯語をしたくない、着任後時殊情勢を良く認識し足元を確に眺めつゝ進むべきだと思ふ、眞に自分の眼、耳で見聽きし諸機關を運用して改むべきものは改め進むべきものは進めたいと思ふ

對ソ、蒙、支 問題は既に國策が確立してゐるから動搖するやうなことはない自分は一點の私心もなく己を空しくし明朗な鏡の如き心境で今後の諸問題に臨み對人問題にしても人を信じ吾も信じて貰ひ滿洲建設に全精神を打ち込む決心である、現下の情勢からいへば人皆が生れ代つたつもりで事態をはつきりと認識し國家のために誠心誠意を致さねばならない時期であると自分は確心してゐる

獨身將軍 植田新司令官の横顔

第四代目の關東軍司令官駐滿全權大使として本日來任した植田謙吉大將は上海事變當時の金澤師團長として「獨身將軍」としてその名は語るべく餘りにも有名だ、大將は大阪の出身明治八年生れだから本年六十二歲、川島大將や滿洲事變の功勞者西義一大將、松木大將と同期の陸士第十期生騎兵科出身の逸材で、南大將森壽中將と共に曾つては騎兵科の三羽烏に數へられた勇將である、面白い事には大將も四十年前には大商人を夢みたことがあつて令兄の賺吉氏が軍人を志願し大佐になつたのに弟の謙吉さんは大金持になる野心で高商に入學したものだ、然し天性の武人には珠算は苦手だつたと見えて後士官學校へ入學、明治卅二年少尉に任官してから陸軍省軍務局員、參謀本部附、軍馬補充部本部長、支那駐屯軍司令官ととんとん拍子に進んで上海事變には第九師團（金澤）師團長として出動其勇名を謳はれると共に休戰調停などにはあざやかな外交的手腕をみせ各國外交官をして舌を捲かせたものだ、不幸上海に於て兇徒の爆彈に隻脚を失ひ、凱旋後恩賜の義足に感激しつゝ參謀次長、朝鮮軍司令官の重責を果したことなどはわれらの耳目にまだ生々しい

×

將軍の本籍は大阪府河內郡狹山村大字池尻五十六番地、嚴父謙八氏は狹山藩士で後に姬路鎭台にゐた關係上將軍は鄕里で生れず、また住んだ事もなく同村には親戚も生家もなく鄕里の關係は隣村の川西村にある祖先の墓に展墓の爲時々歸省する位のものである

×

將軍は非常に部下思ひでその溫容は軍の內外から慕はれてゐるがまた童貞將軍のニックネームを持つ有名な獨身主義者だ、趣味と云つては讀書と乘馬といふから頑固さうに考へられるが至つて子供好きだが軍人は何時戰死するかわからぬから獨身生活がむしろ理想だと言ひ切つてゐるところはやはり典型的な武人型と云はれよう

春微笑む特別列車

（特別列車にて金久保特派員發）日滿官民の輿望を擔つていよ〱けふ晴れの都入りをする我らが軍司令官を乘せた特別列車は午前九時十分奉天驛を出發一路國都に向け驀進した、窓外は和やかな小春日和、畑にはところ〲肥料が堆く盛られて春の用意がスッカリ出來上つてゐる、去る二十二日東京を出發しての途に上つてから六日間途中各地で歡迎攻めと車內における關係者との面接で忙しい旅を續けて來た將軍はけふの特別列車でも關東軍、滿洲國、滿鐵首腦者の情況報告が後から〱連續して憩ふ暇さへない遂に東京から新京まで一週間といふものは全く自分の時間を持たないといふ超忙殺振りであつたが、流石に四十年間の武人生活で鍛へ上げた身體だけに長途の旅にもいさゝかの疲れも見せない頼もしい我らの將軍である、奉天から四平街までは板垣參謀長、東條憲兵隊司令官、于軍政部大臣その他滿洲國要人と會談その間鐵嶺、四平街で瀟洒な姿をホームに現し出迎へ人に叮嚀な挨拶をする、續いて四平街から便乘した松岡滿鐵總裁と食事をし乍らの會談、それが終つて公主嶺を出ると新京記者團との會見をした、窓外には和やかな春が微笑んでゐるといふのにこのところ軍司令官ばかりは氣の毒なやうなせわしさであつた

午後二時半 事務引繼ぎ

新舊軍司令官の事務引繼ぎは二十八日午後二時半から軍司令官々邸で行はれた

現地交渉と同時に 外交々渉を開始

長嶺子事件一先づ平靜化

【東京國通】長嶺子事件は我軍の適當なる措置により目下一先づ平靜に歸しつゝあり、之以上事件が擴大する事はあるまいと觀られてゐる、即ち同事件發生の地域が朝鮮軍管下にあるため同軍司令部より大野參謀を派遣し、更に事件の詳細なる調査を行はしめてゐるが今後同事件の交渉は現地朝鮮軍とソ聯側軍隊との間に折衝を開始すると同時に外交交渉により太田大使とソヴイエト外務當局との間に全般的滿ソ國境問題を含めて折衝を行ふ事となつた

朝鮮軍司令部の發表

【京城國通】朝鮮軍司令部發表＝

一、本月廿五日午前八時頃我軍將校四名下士官兵五名長嶺子附近國境線を巡廻中なりし時ソ聯國境監視隊は不法にも突如我に向ひ猛射を加へ我將校以下廿名に輕傷を負はせしめたり、我隊員は已むなく之に應戰しつゝ即次後退せり

二、約八十名のソ聯監視隊は不法にも我將校を射擊しつゝ急追し國境線を越へ約三百米滿洲國領に侵入せり、よつて琿春枝隊は急を聞き將校の指揮する約四十名の部隊を現地に急派せり、該部隊は同日午後一時頃現地に到着せしが侵入ソ聯監視隊は之を見て直ちに國境附近に退却、その後我約四百米を隔てゝ國境線を挾んで互に對峙せり

三、我部隊は現地交渉に移る目的を以て白旗揭揚を準備中ソ聯は增員を策し兵力約百五十名午後四時四十分頃俄然射擊を開始し我要求を無視し敢て挑戰的態度に出づ、此處に於て我軍も亦已むなく應戰し日沒に至る

此の衝突でソ軍戰死者約二十名を目擊せり我が隊負傷兵三名

四、廿五日夜以後のソ軍の主力は長嶺子のゲ・ベ・ウ隊兵舍後方七百米の地點にありトーチカ陣地附近に據り、その警戒兵は概して國境線近くに配置し峻嚴なる警戒を施しあり

五、我部隊は廿五日夜九時頃一部警戒兵を國境線附近に殘置し監視に任ぜしめ主力はその後方約二里の二道河子に集結し現地解決の歩を進めつゝあり尚我第一線警戒兵は爾後國境線を距たる七、八百米後方の線に後退せしめたり

大田大使の抗議に ス次長强辯す ＝會見は遂に物別れ＝

【モスクワ廿七日發國通】太田大使は廿七日午後外務人民委員部を訪問、ストモニアコフ次長と會見の上ソ滿兩國々境長嶺子附近に於けるゲ・ペ・ウと日本軍見廻將兵との衝突事件につき嚴重抗議を提出した、大使は特にソヴイエト國境保安隊が越境滿洲國領土內に侵入した事實を指摘、事件の責任は全く保安隊に存する旨を指摘したが、ストモニアコフ次長は容易に承認せず却つて日本軍將兵がソ聯領域內に侵入したと强辯責任轉嫁策に出た、會談時餘に亙つて双方の主張は一致せず結局物別れに終つたと解される

松島大使勇退 外務人事刷新の第一歩

【東京國通】廣田外相は外務人事の大刷新の前提として豫てより前駐伊大使松島肇、前駐白大使永井松三、前駐獨大使林久治郎三氏並に川島信太郎公使の圓滿なる勇退を希望してゐたが先づ昨年度インド近東地方外務巡閲使の使命を完了した松島大使の勇退を行ふこととなり廿七日附左の如く發令した（寫眞は松島氏）

特命全權大使 松島肇
依願免本官

伊北軍近く ゴンダール略取

【ローマ廿七日發國通】伊エ和協氣運が促進されるとの報事らなる折柄東阿戰線では伊エ兩國軍依然無氣味な對立を示しイタリー陸軍當局は二十七日北軍は近く一大攻勢に轉じゴンダール略取を敢行すべき旨を言明頗る注目を惹いた

人事往來

▲松岡滿鐵總裁 二十八日午前四平街へ
▲吉本少將（步兵第〇〇〇團長）同內地へ
▲二宮大佐 同
▲河本滿鐵理事 同大連より
▲草野松邨氏（敎化聯領事）二十八日午前敎化へ
▲油野友治氏（官吏）同
▲矢崎忠藏氏（海軍水路部）同內地へ
▲荒木力次氏（同）同
▲蒲生濱二氏（滿鐵）同大連へ
▲多田治作氏（荒井組）同奉天へ
▲于深徵氏（第一軍管區司令官）同來京國都ホテル
▲甲斐喜八郎氏（日本漁業）二十七日午後旅順へ
▲庄司雅一氏（同）同大連へ
▲岩口光雄氏（軍屬）同ハルビンへ
▲狩野仁一郎氏（ビクター社員）同大連へ
▲福山醇藏氏（大連稅關吏）同
▲江原耿氏（三田組）同ハルビンへ
▲中村美明氏（陸軍中佐）同淸津へ
▲石井正氏（雜貨商）同奉天へ
▲和田完二氏（丸善鑛油）同來京國都ホテル
▲菅田太樹氏（同）同
▲後藤泰次氏（同）同
▲松浦宏光氏（會社員）同
▲阪田彌太郎氏（大阪敎育圖書館長）同
▲利行睦生氏（西安炭坑監事）同
▲桑田光一氏（敎育用品商）同
▲山本駒太郎氏（同）同
▲大野久敷氏（藤田組支店長）同來京名古屋ホテル
▲小宮熊男氏（ビール會社）同
▲高木淸治氏（機械商）同
▲寺師義信氏（陸軍少將）同
▲北野政次氏（同中佐）同
▲小幡麗氏（會社員）同
▲小島太郎氏（陸軍少尉）同
▲重住吉園氏（同少佐）同
▲增田昇二氏（三菱社員）同
▲三島三右衞門氏（大林組）同
▲安部孝一氏（陸軍中佐）同
▲原捷吉氏（陸軍少佐）同チチハルへ
▲藤井嘉三郎氏（貿易商）同ハルビンへ
▲公平匡武氏（陸軍少佐）同
▲宇佐美珍彥氏（奉天總領事）同奉天へ
▲矢代壽一氏（陸軍中佐）同チチハルへ
▲田邊助友氏（同）同
▲山內正雄氏（同）同公主嶺へ
▲太田殖穗氏（藥種業）同奉天へ
▲石濱勳氏（陸軍少佐）同內地へ
▲河崎思郎氏（同大佐）同奉天へ
▲吉川勝氏（大林組）同大連へ
▲宮澤源七氏（陸軍大尉）同ハルビンへ
▲三倉一正氏（同中尉）同所澤へ
▲北川三郎氏（同大尉）同チチハルへ
▲八木聞氏（滿鐵審查役）同來京ヤマトホテル
▲ヅーバー・ミスターM（會社員）同
▲辻態郎氏（三井物產）同
▲村井啓次郎氏（滿洲銀行頭取）同
▲草間榮登氏（大連觀測所長）同
▲中山義雄氏（辯護士）同
▲宮澤惟重氏（滿鐵地方部長）同
▲三浦惠氏（鐵路總局）同
▲蔡運升氏（間島省長）同
▲志村正三氏（醫師）同
▲有田八郎氏（駐支大使）同
▲近藤孝一氏（同秘書）同
▲萩原徹氏（同）同
▲尾崎久市氏（滿鐵）同同奉天へ
▲小林利衛氏（協和會）同吉林へ
▲富田租氏（滿鐵審查役）同大連へ
▲中川四郎氏（哈市水道局）同奉天へ
▲竹內元平氏 同
▲濱田駐滿海軍部司令官 同奉天より
▲榮厚氏（中銀總裁）同
▲久保田奉天醫大學校 同
▲小松警視（旅順署長）同大連へ

その日〱

□ 本庄去り、武藤逝き、菱刈省つてけふ又南將軍去る、皇帝陛下御感懷の程拜察……

□ 南將軍明日離京、將軍の面上晴れやかさの乏しき東京事件を想ふ

□ 溫顔に謹嚴、植田新軍司令官の偉容に接し日滿官民の信賴愈よ增す

□ 滿洲國愈よ成長の域に達し寡默、勇斷の將軍を得て三千萬民衆共に湧き立つ

□ 社金横領社員旅先で會社の重役に發見捕はる、運命の蔓の目斯の如し

南大將皇帝に拜謁 最後のお別れ言上

數々の御下賜品に感激を語る 記者團と最後の會見

二十八日午前九時四十五分宮內府に參內、同十時皇帝陛下に拜謁、出發の御挨拶申し上げ、天皇皇后兩陛下 皇太后陛下への御傳言を仰せつかつた南大將は同十一時四十五分ヤマトホテルで御下賜の品を前にして記者團に左の如く語つた

今日 × 皇帝陛下に拜謁したが最後のお別で次から次へとお話があり豫定がおくれた、皇帝陛下には御居間の飾物をこんな意味で御下賜になつた（御下賜品を戴き乍ら）こちらを日本國と考へ、こちらを滿洲國と考へ、こゝにある澤山の子供を慈愛に滿ちた愛を以て共に和氣藹々として居るが之を常に居間に置く樣にとのことであつた又皇帝の最近の御眞影に御判を戴いた。私も『天上無窮』と書いて來た、扨て一昨年着以來滿洲國の人に呼びかけた言葉及びこれにより

實行 して來たことは、一、關東軍の陣容を充實し日滿兩國民の眞の期待にそむかぬ樣努めたい
二、仁和を以て進みたい
三、滿洲國經濟發展に最善の努力をしたい
四、先づ治安維持に邁進したい
五、接壤各國に對する調節をしたい

以上の五つを公言し之に方針を置き軍並に滿洲國を指導して來た、在任一年三ヶ月この間完全には行かぬが第一の方針により軍規は肅正された、そのよき證據には最近の東京事件が起つても關東軍は微動だもしなかつた

第二 に日本人は慈しみ滿人は猜疑の心を去れ、爾來機會あるごとにこの意味を徹底させて來た諸君も言論機關の一員として大いにつくして下さつたことは感謝に堪えぬ

第三 の問題は昨年日滿經濟共同委員會を見、產業開發の基礎もなり其他重要產業統制法もその緒についた、全部その基礎だけは出來たと私は信じてゐる

第四 は治安維持だが、すべての發展は之による故に昨年秋には大々的に日滿軍警は勿論公共團體も之を支持し滿洲國獨立以來實に劃期的成果をあげ今後の治安維持の基礎を得たことは御承知の如くである

第五 の接壤國との友好關係調節に關しては北支及外蒙と云ひ接壤國でそこから反滿策動滿洲國に對する諸般の內政攪亂の機先を制し斯る惡運動を制止したことは諸君の御力添も大であつた、ソ聯及外蒙の國境では幾多の問題が頻々として起つたが大體治つた、概して滿洲國の進展狀況は順調だ、この原因は兩國民のこの世界的大事業に全力をあげた賜であり、又言論界における諸君の國策遂行上大乘的立場に立つて感情を去り正義につかれた御盡力のたまものである、私は今滿洲國を去るに當り

諸君 を通じて日滿兩國民に所懷を述べたり、滿洲事變以來五ヶ年、世界の趨勢は眞の非常時は今後にあることを示してゐる、今後の五ヶ年こそ東西兩洋を通じて大切な時である我等先進日本國に生をうけてゐる者はこの時局を念頭に置かねばならぬ最近ソ聯は逐次その內容を整備し眞に實力を用ふるの程度に達してゐる外蒙はソ聯の傀儡となり新疆は彼の手にある

その 力は河北に伸びこの形勢は北支內蒙に大なる影響を及ぼしつゝあり、かかる形勢を目前に見る時滿洲國に居る吾人は又今後に眞に自覺的の覺悟をなすべきである、東京事件は遺憾であつた、今後軍自體の肅正を圖るのは勿論上に對し軍の充分なる本務を盡すべきだが、同時にあの出來事を楔機とし今後日本の海陸活動に國民の總意を反映する指導が必要である、軍自身の肅正解決と思へば誤りで、社會全般に於いても改善し以て國威發揮の大目的に向つて進まねばならぬ滿人は今や初期とも異なり人心歸趨決定を見たやうである、何と申しても建國日尙淺く國家構成分子は五族より成り人和の上に於いても經濟機構上よりも對外的な方面にしても治安を眞に必要とする、滿洲國の治安現狀は日軍で外敵の阻止に當るには前途遼遠である、有終の美をなさしめるには實に兩國民の協力一致に待つべきである諸君の健康を祈るものである

社金橫領犯人 旅先の重役に捕はる

元泰信無盡の湯原靜雄 別府の旅館で導かる

運命の賽の目

原籍茨城縣稻敷郡瀧ヶ崎町永樂町三丁目十二番地居住元室町二丁目泰信無盡會社々員湯原靜雄（二七）は二月二十九日午後十一時ごろ當夜宿直を

奇貨 に事務室机內に保管中の社金七百八十圓を盜み出し行方を晦まし全滿に指名犯人として搜査中であるが社用を帶びて內地に歸省中の同會社專務取締役辻馨氏が二十七日別府市に立寄り午後五時ごろ松の家旅館に入らんとした際どうした因緣か

發見 右の湯原をその場で取押へた旨二十八日新京署宛辻氏から電報があつた

宇佐美、佐藤兩理事來京

新舊軍司令官歡迎送のため滿鐵理事宇佐美寬爾、佐藤應次郎兩氏は二十八日午前七時の列車で來京した

坂口、松井討伐隊 匪群を殲滅

【吉林國通】坂口討伐隊樺甸縣恒道子分遣隊長川崎曹長は部下〇名及自衛團〇〇名を併せ指揮し二十六日午前六時暖木條子溝山中に於て撫松縣方面より移動し來れる紅軍曹司令及び楊司令の合流匪約二百を奇襲、捕捉潰滅せしめた本戰鬪に於ける敵の遺棄死體十八、小銃三を鹵獲、人質八名を奪還した、引續き松井討伐隊小澤中尉以下〇〇名は廿六日早朝敦化西南方官屯子を襲擊せる系統不明の約百の匪團を追擊中同地西南方十五キロの紅石拉子西南二キロの山中に於て該匪と遭遇、交戰時餘にして之を擊退した、本戰鬪では我軍兵一名負傷、敵の損害多數に上る見込みである

叛く自殺青年に 泣かされる親心

本紙の記事で北海道の實母が知り 新京署にくさぐの願ひ

去る十五日金のない春を後に興安橋で飛込み自殺を遂げた邦人青年の身元については新京署で取調べの結果原籍北海道紋別郡遠輕町中通り鬮川廉二（二三）と判明したことは既報の如くであるが子を思ふ親心遠く數百里隔てた北海道にある實母フミさん（五二）が吾子の自殺を本紙夕刊で知り取るものもとり敢へず『せめて亡き愛兒の遺骨を』と新京署長宛二十二日次のやうな依賴の手紙が到着、猪苗代署長も感激の淚にくれてゐる

新京日々新聞に轢死青年と書いて鬮川廉二と出てゐましたのを見ましてびつくり致しました、どうも私もそうでないかと思ひます、二月初めに病氣も漸しよくなつたと手紙が參りましたので今後の家事のことやら身のふり方について色々打合せ申して廉二に手紙をやりましたが其返事を今日か明日かと待ちに待つてゐた矢先き新京日々であの事を知りまして、お取調べの上確に廉二でありましたらせめて遺骨でも迎へて成佛を祈りたいから火葬としてその遺骨だけでもお送り下さいませ（原文のまゝ）

署長殿　北見國遠輕町　鬮川廉二實母　鬮川フミ

商相後任に 小川鄕太郎氏

本日親任式擧行

【東京國通】川崎商相の急逝に伴ふ後任商相は廿八日午前九時町田民政黨總裁が廣田首相を外相官邸に訪問して黨內事情より新人小川鄕太郎氏を推擧する旨を述べ、その結果小川氏と決定し即日左の如く親任式が擧行された（寫眞は小川商相）

正四位勳二等　小川鄕太郎
任商工大臣

事變敍勳者

新京地方事務所關係の分

滿鐵社員の滿洲事變論功行賞のうち敍勳の分は此の程發表され三十一日午前十時から大連滿鐵本社に於て松岡總裁よりそれぞれ傳達される事となつたが新京地方事務所々長武田胤雄、庶務係長稻葉賢一兩氏は勳六等に敍せられた、地事敍勳者は左の如くである

△勳六等瑞寶章武田胤雄、同稻葉賢一、勳八等瑞寶章小野寺兵右衛門、同橋口有恒、同今三郎、勳八等旭日章佐藤鶴龜人、△元地方事務所員勳五等旭日章竹內德三郎、勳六等旭日章中谷彥太、同是安正利、勳六等瑞寶章寬淵、同里見甫、同奧村常二、勳八等瑞寶章須藤富士喜

バス會社の滿人車掌 賣揚げ金を稼ぐ

其金を警官が更にせしめる

奉天省海城縣大屯生れ新京西三道街三義胡同二十七號地醫師龐芳甫（五一）長男寶志（一七）は昨年十月から交通會社車掌として乘務中賣揚金を胡魔化してゐることを聽込んだ同會社監督大石士郎氏が二十六日寶志に

尾行 して其行動を注意してゐると寶志は二十六日第二號線勤務中賣揚金中から五圓五十錢を橫領し午後二時ごろ三圓を計算係りに預け殘り二圓五十錢は日出町一丁目露店商一號某に預け勤務終了後身體檢查も終へて計算係及び露天商から預金を受取つてその足で西四路馬にいたり警察官王某（搜查上特に秘す）に一圓を煙草の中に入れて手交した事實を發見午後十二時ごろ寶志を取調べると寶志は隙を見て逃走行方を晦ました、この屆出をうけた驛前派出所では二十七日寶志の父親龐芳甫を參考人として呼び出し取調べると

寶志 は昨年同會社に勤務以來殆ど每日王に一日一、二圓の金員を渡してゐたことが判明新京署ではなぜ王に金を渡してゐたかを調べてゐる

制服を盜む

山東生れ苦力李萬成（二七）は二十七日午後五時ごろ新京驛小荷物係に忍び込み小西久次氏の滿鐵制服を竊取の上着服しすまし顔で內ポケットに入れてあつた現金三十五圓で買うけ、支那服を買ふなど消費してゐたが二十八日午前八時東四條通りで徘徊中を岩田刑事に逮捕された

新京中學校 御眞影傳達式

けふ嚴かに擧行

新京中學校の御眞影傳達式は二十八日午前九時殿廡に擧行された、滿鐵總裁代理宮澤地方部長、櫻井學務課員、武田新京地方事務所長、鯉沼同地方係長は禮裝に威儀を正して新京總領事館に到り午前九時宮澤地方部長は中野總領事代理より御眞影を拜受し奉持して直ちに自動車にて中野總領事、岡谷、金子兩書記生其他隨行憲兵警察官御警衛にて一路興安大路の新京中學校に到着午前九時十分階上校長室にて傳達式を行ひ總裁代理宮澤地方部長より校長矢澤邦彥氏に傳達、校長は忝しく奉安所に奉安し奉り式を閉じた、この日中學校にては職員生徒正門前に整列して御眞影を奉迎し奉つた

關岳祭に際し

關岳の事蹟を回顧（中）

岳飛

岳飛の生れる時金翅の大鵬が屋上に集まつたと言はれてゐる、幼時家が貧窮してゐた爲彼は讀書を母の姚氏から授けられた、左背に誠忠報告の四字を刺青し、左氏春秋と孫吳の兵法とは彼の最も愛讀したものであつた、生れながらにして力人に勝れ、能く三百斤を提げ八石の腰弩をひいた、徽宗の十九年、金が北邊に侵入した當時岳飛は宣撫使劉の部下としてはじめて從軍した、劉は彼の非凡な人材を見拔き拔擢して隊長とした

◇

其頃相州に匪亂が起り、勢ひ猖獗を極めてゐたが岳は兵二百を率ゐて之が鎭壓に向ひ、匪情を偵查した後伏兵を以て大いに之を破つた之が彼の最初の軍功であつた、高宗の元年迄に、岳は累進して偏將となり、又數次の金軍との戰に大勝を博して激賞を買つた、後河北招撫使張浚の麾下に入り、張の信賴を受けた、岳は國家の根本大計は河北を收復するに在りとし、麾下の兵を率ゐ黃河を渡つて新鄕に進み之を據點として金の營を攻め各處に之を破つた、高宗の三年、賊賀善、曹成、孔彥舟等五十萬の大衆を以て到る處橫行してゐたが岳は八百の寡兵を率ゐて之に向つた、賊は其武威に畏れ、風を聞いて潰走した、高宗即位の初年、李相宗澤、張浚、韓世忠等の勇將は悉く除かれ國權は黃潛善、汪伯彥等の小人に握られた、金は中原に人物無きと見大將兀朮をして復中原に侵入せしめ、更に餘威を驅つて東京、南京等を奪取した

◇

この時宋の社稷を辛じて支へてゐたのは岳飛で、彼は劉德と杭州、建康、新城等に於て奇計を以て屢十萬の金軍を破り金の江南侵出を防いだ、當時江淮、山南に李成、馬潰等の賊がゐて黨を率ゐて洪州を犯したので岳飛はその不備を攻めて之を　州に退け兵八萬を捕虜とした、李成は湖北に逃れ匪首張用と結んだ後張用は岳飛に說得せられて投降した、李成は更に十萬の衆を以て道賀二州を占據し岳飛に抗せんとしたが、岳は伏兵を以て之を誘ひ遂に之を潰滅した、宋朝は岳の偉功を賞して精忠岳飛の四字を賜ひ之を鎭南軍永宣使、江南西路制置使に昇敍した、後金は國內の寇賊と結んで襄陽、唐鄧、隨　諸州を侵占し進んで江西より兩浙を犯さんとし廟議殆んど遷都に決せんとした、岳飛は人心の動搖を恐れ進んで先づ襄陽六郡を奪回せん事を建議した、朝廷その建議を容れ岳に荊南岳州制置使を兼任せしめ、又黃復州漢陽軍德安府制置使を授けた

全國選拔野球 組合せ決定

【大阪國通】大每主催第十三回全國選拔中等野球大會は愈々廿九日から八日間甲子園球場で擧行されるが廿七日左の通り組合せを決定した

△第一日（廿九日）
一回戰
岐阜商業―廣島商業
浪速商業―松山商業

△第二日（三十日）
一回戰
桐生中學―熊本工業
早稻田實業―小倉工業
二回戰

△第三日（卅一日）
平安中學―姬路中學
二回戰
愛知商業―吳港中學
東邦商業―和歌山中學
享榮商業―育英商業

△第四日（四月一日）
二回戰
京都師範―鹿兒島商業
市岡中學―瀧川中學

△第五日（四月二日）
二回戰
早稻田實業（勝者）桐生中學
小倉工業（勝者）熊本工業
二回戰
岐阜商業（勝者）浪速商業
廣島商業（勝者）松山商業

△第六日（四月三日）
準々決勝二試合

△第七日（四月四日）
準決勝二試合

△第八日（四月五日）
優勝戰

ヴイクトリア丸 神戶港內で出火

【神戶國通】廿六日午後零時半頃神戶港內に繫留中の國際汽船インド航路ヴイクトリア丸（五千八百七十五噸）前部第一ハッチより發火、火勢猛烈を極め消防署員、水上署員等馳せつけ必死の消火に努めてゐるも手の施しやうなく鎭火までに一晝夜を要する見込である、尙は同船はインド綿を滿載してをり損害約三十萬圓に上ると

メキシコ空輪機 火山に墜落

【メキシコ廿六日發國通】メキシコ空輪會社所屬旅客機は廿六日午後ポホカテペトル火山上空に於て發動機に故障を生じ墜落し、乘客ドイツ人十名乘組員四名は慘死を遂げた右慘死者中には前獨帝の甥アドルフ殿下、エリザベス・シヤウンフルキップ妃殿下、ジーグムンド・フオンステイーベル男夫妻等の名士が交つてゐる

東大クルー 滿洲經由渡英

【東京國通】東京帝大オリムピック・エイトクルーは七月一日から四日までイギリステームス河に擧行のヘンレイレガツター出漕の都合上來る五月十八日東京出發、大連に立寄り日本漕艇協會滿洲支部の送別會に臨み、シベリヤ經由一路イギリスに向ふ豫定

新京聖公會集會

（市內富士町四丁目十四）
一、日曜日（三月二十九日）　大齋第五主日
早禱禮拜　午前十時　聖堂
司式說敎　久泉牧師
日曜學校童話會、午後一時（負はされた十字架の光榮）
晚禱禮拜　午後七時　〃
司會者　芳尾兄
奬勵者　木村兄

日の出を拜す集

大齋早天禮拜　午前七時　聖堂
〃　八時十分　小貫兄宅
二十九日（日曜日）午前五時二十分西公園忠魂碑前（新京日の出時刻五時二十七分）市民早起會六時

日本基督集會

一、日曜學校自午前九時
二、朝　拜自午前十時十分　「神の義の結果」吉川牧師
三、夕　拜自午後七時　「一粒の麥」吉川牧師
出席歡迎

寄附

領事館署巡查柴川清彥氏は亡妻の忌明に際し貧困者救濟金として同署へ寄附したので同署では管內各派出所に命じ貧困者の調查を行つた

あす（廿九日）

△南大將離京、午前九時「はと」（驛入場は八時四十分限り）
△新京工學院入學試驗、午前十時
△小林廣次氏赴任、午後九時出發
△本社學藝部主催文藝座談會午後二時、X喫茶店（市營アパート內）

今晚の主なる演藝放送

▲拳鬪試合實況―新京記念公會堂より中繼―▲七・三六連續ラヂオ小說「雪之丞變化」（續篇）（東京）守田勘彌▲八・〇〇拳鬪試合實況―新京記念公會堂より中繼―

天氣と氣溫

明日の天氣　北東の風晴時々曇
日の出　前五時二十七分
日の入　後六時〇二分
月の出　前九時二十五分
月の入　後〇時二十六分
けふの氣溫　最高　二度四　最低零下六度七

演藝と映画

Seiri

●新映畫評●

「罪と罰」「人生劇場」「生きてゐるモレア」

"罪と罰"

―コロムビアー

犯罪研究に專念する天才ラスコリニコフが貧しい妹アントニアのために質屋の老婆を殺害するが、「完全犯罪を實行し得るものは吾れ一人なり」といふ確信にも拘はらず署長ボルフイリーと會ふに及んで、彼の確信はぐらつき、その上襲ひ來る良心の苛責に堪へかねて遂に犯行を自白するまでの物語りが描かれてあるが、ドストエフスキーの原作は暫く別として、この映畫における脚本（S・K・ローレン、ジヨセフ・アンソニー）は中心をラスコリニコフと署長ボルフイリーとの智嚢戰に置いてゐる、署長はラスコリニコフが犯人であることを知りながら證據がない爲に捕縛し得ずにゐる、ラスコリニコフはまた己の完全犯罪を確信し、署長を侮蔑しながら、良心の苛責のために落着きを得ない。さう言つた犯罪者ラスコリニコフの心の動揺と、署長との對決が堂々と正面を切つて描かれてあり、台辭による一問一答の智嚢戰は見てゐて充分に興味深いものがある、かうした邊りにおけるスタムバークの監督ぶりにもソツがなく、原作のもつ晦澁さから脱して、アメリカ映畫的色彩を粉飾して、高級な娯樂的探偵映畫を作り上げてゐる。然し脚本の構成からして言ふと犯罪者の心理を追及する以外に今少し出て來る人物の關係を明瞭にしておく必要があり、場所と時間の關係が輕視されてあるやうに思へた、探偵映畫にはこの種の連絡が大きな役割をもつてゐるのだ、妹アントニアと昔交渉のあつた男の登場は犯罪者心理を描くためには役立つてはゐるが、動かし方が曖昧であり、どういふ男なのか判然としない、女主人公ソーニヤの生活も此處では想像出來る程度にしか描かれてゐない、ラストシーンにおいてスタムバークが地がねを出し「戀愛」を高唱しなければならないとするならば、益々もつて想像だけでは不可ないと思はせるのである、とまれ興味は署長とラスコリニコフの交渉に關する限り堪能出來また此の映畫の價値を決定するのもそれ以外にない、役ではペーター・ローレのラスコリニコフが流石に拔群の出來、次いでエドワード・アーノルドがいゝ、マリアン・マーシユも印象に殘る演技を示した、カヤメラ（ルシエン・バラード）もスタムバークが名キヤメラマンであることを想ひ浮べられるのであるが、雰囲氣を出し切つた見事なものであつた、高級な娯樂映畫、探偵的興味が迎へられやう帝都キネマ上映中、（N生試寫記）寫眞はローレとエドワード・アーノルド

"生きてゐるモレア"

―パラマウントー

「情熱なき犯罪」同樣ベンヘクト、チヤールス・マツカサー御兩人の手になる作品であるが、同樣近代智識人の悲劇を取り扱つて前作より更に一足深く奥に喰ひ込んでみせた作品である隨つて所謂「映畫的」な愉しみは先づ求められない、主人公アナトール・モレアの恐ろしい自信と、非人間的な性格を前面に押し出して强調の一點張り、極端に迄狹められたと思はれる視野の中で、モレアの持つ「教養」の悲劇が鋭く深刻に追求される、飛躍にかはる沒頭の世界が連續してゐるのである、全てのものを冷笑し女を玩弄視する人非人モレアの、感情を失つた理智の力が灰色の恐怖の中で傲然と濶歩してゐるのである、然し一度び危禍にあつて死んだモレアが、安息を得ずして現實界に彷徨するに至つて、モレアの自信と力は悲慘にも叩きのめされる、冷笑し、玩弄視したものに涙と愛を求めなければならないのだ、用意された大きな皮肉が現實のモレアに向つて放たれる、これは全ての智識人の何處かに巣喰つてゐるモレア的性格に對する大きな皮肉でなければならない、モレアの死ぬまでの前半と、死んでからの後半の交錯に於いて此の映畫が齎す皮肉こそこの映畫の最も興味深い優れたところであらう、但し後半の涙と愛の精神がヘクト、マツカーサーの神々への妥協であるとするなれば、これはとらない、恐らく宗教への皮肉、近代人のもつ宗教觀への皮肉であらうと解釋出來るのであるが、これは買ひ被りであらうか、主演するノエル・カーワードも適役、見事な演技を示してゐる、映畫を子供扱ひにする人達に特に推薦しておく豐樂劇場上映中（江來闌）寫眞はノエル・カワード

"人生劇場"

―日活東京作品―

「尾崎士郎も此の一篇で愈々華かな舞台に現はれて來た。地味で割にめぐまれなかつた同氏が斯うして作家としての業蹟を勞らはれるのは當然なやうな氣がし、泌々と熱つぽいものを感じた」室生犀星が映畫「人生劇場」をみての感想は此んなことであつたと記憶してゐる。この原作を讀んではゐないが、監督内田吐夢はこの純粹小説と正面に組んで努力した熱意のあとを見せ又慥かにそれ丈の事はあつたと思ふ。「ボリスチツク」を閉ぢよ、ノートを引裂け我等はまだなすべき當面の問題がある」と立上る青年達の惱みを惱み、構案をつづける人達に始めて切々と語つてくれる寫眞である。時代のユウウツな描寫も成功である。もつと、方言などの使用に眞面目な研究の要はあつた。小杉勇の二役、飄太郎（父）が飄吉（子）より演技は一枚上、村田知榮子のお袖よろし（寒太郎）

仙人掌

春なれや！ダイヤ街の"春"にゆくと滿開の櫻花に飾られて、美しいのがキヤツ／＼と騷いでゐる▲敏美クン、里美クン、容子クン等、仲々よろしきサービスあり、晩くまでつき合つてくれる▼夢二型の容子クン、時々鼻の下をこすつて見せるが、ありや止めにや不可ン、あすこを刺戟するとヒゲが生える！▼この夜、理由がないのに怒つて暴れ出す醉客あり、黒美クン懸命となつてなだめつ、すかしつすれど及ばず憤然と飛び出した醉客を見送つて「あれ程サービスしたのに」と嘆息すること暫し、人を恨まず己を恨む寛容の德は賞賛するに値ひあり、但し、このひと、氣が長いのか短いのかは與り知らん▲また引つ張り出すが、フルツパーラの光ちやん、この頃しきりにお化粧し出した、「光ちやん白粉をつけ出したナー」と言つたら、「お化粧は女のたしなみデス」と、スゲエことを言つてのけた芳年十七▼銀パレスの麗子クン、切角將來まで固く契つた？サンリー先生が近く奥地に轉勤するので、このごろとても憂欝だ、何んとかして…コレ、よけいなオセツカイはよせ！▲こゝの貞子クンは糸切り齒に特徴がある、笑ふ口もとが美しい

雑音

帝都キネマの有料試寫會盛況、好ましい雰囲氣を醸成しこの種の催しが盛んになるのは喜ぶべき現象だ▼こゝの四月の洋畫陣は一日からの「結婚の夜」を筆頭に「血の敵」「あかつき」「あらし」等、優作が並ぶ▼暫く途切れた歐洲ものが、賑はつてファンを喜ばすであらう▼豐榮には近く「ダンテの地獄篇」が掲る、フオックスにしては珍らしくハツタリのきく寫眞その他パラアウント邊りの二番線級の大作がどし／＼と掲る、思ひ出は盡きずとかや、特許「思ひ出の名畫週間」歡迎！

九星

三月廿九日　曆三月七日　日曜　庚戌　先負　危　星宿

●一白の人　内輪揉めを生ずるも人の口きゝにて治まる　庚と辛と壬が吉

●二黒の人　當初の順調なるに反して次第に苦境に陷る　由と巽と明が吉

●三碧の人　自尊心高きは人々の交和を薄らぐべし注意　丁と辛と丑が吉

●四綠の人　家庭の融合は自ら人々の尊信を増す基なり　丁と庚と辛が吉

●五黄の人　平穏無事を希ひ妄りに計畫を起すべからず　甲と巽と未が吉

●六白の人　我意と短慮とを愼み忠直に勵めば大功あり　甲と乙と未が吉

●七赤の人　策略圖に當りて志望を遂ぐべき佳良なる日　甲と乙と巳が吉

●八白の人　虚榮を去り驕奢を愼しみ堅固に身を持ち吉　乙と己と戌が吉

●九紫の人　大事を遂げ巨利を博せんとせば失敗を招く　戌と壬と丑が吉

出生

△新京富士町五丁目六番地永井角次郎氏長男次郎さん十八日出生

△入船町四丁目一番地井口等氏長男敏之さん六日出生

△老松町一番地藤田藤助氏三女澄子さん十一日出生

△錦町三丁目五幡戸一郎氏長男義弘さん十二日出生

▲中央通警察官舍一〇六號平田忠義氏長女陽子さん十三日出生

▲羽衣町一丁目十七濱川行雄氏長男賢一郎さん七日出生

北支安定が主因で 人絹輸出激増す

本年度大連向輸出だけで 昨年度總輸出を凌駕せん

【東京國通】人絹界は依然輸出産業の花形として綿布を始め一般輸出商品の頭打ち的傾向を尻目に世界制覇への躍進を繼續してゐるが就中北支那の大消費地をヒンターランドとする大連港へのマガジン絹糸の輸出は本年に入つて益々飛躍的増大を告げ一月以降三月迄の輸入額を合計すると早くも昨年中の同港向け總輸出量にも肉迫せんとの情勢を示してゐる、而して此勢を以てすれば本年は大連向けの輸出量だけで優に昨年度我國人絹糸の總輸出量をも突破するのは必然と見られるに至つた、即ち昨年中の大連港輸入總量は七百五十六萬五千餘封度で我國總輸出量たる二千二百七十九萬四千封度の約三割を示してゐるが本年一、二月の同港輸入尻は一月に百卅五萬封度二月に二百萬封度であり、假に三月中のそれを二百萬封度と押へるも僅か三ヶ月間で昨年の輸出量に迫らんとしてゐる、右は北支政局の安定が內地糸價の低落と相俟ち同地方の人絹糸需要を喚起した結果に基くものである

鴨綠江に日滿合辦 大發電所計畫

朝鮮にも電氣統制は進む

【京城國通】朝鮮に於る電氣統制は昭和七年以來着々進行して既に一段落となり、今後に於る新規企業は一切この既定統制方針に基いて認可されることになつてゐるが未開發水力資源の主なるものとして又鮮滿國境方面に於る一大電源として注目されてゐる鴨綠江本流の發電調査は大體昭和十二年度より日滿合辦で着手の見込みである、鴨綠江の發電力は五、六十萬キロを下るまいと見られその支流については朝鮮側は朝鮮遞信局で、滿洲側は滿洲國で夫々本年度から單獨調査を行ひ本流のみ日滿合同で調査を行ふものであるが完了は昭和十五年度の見込みである

滿洲電業會社 躍進の業績(上)

第三回株主總會で社長挨拶

本日玆に定款の定めに依り昭和十年七月一日より同十二月三十一日迄の營業を締切りまして第三回の決算を了し其の成績を御報告申上ぐると共に各計算書並利益金處分案に就き株主各位の御承認を得度く本總會の開催を御通知申上げましたところ御多用中にも不拘御出席を得まして重役一同深く感謝する次第であります

本期は社內諸般の機構も漸く整備して參りまして事務運用の改善と社業の進展とが雁行して本日報告申上ぐる如き事績を擧げ得ましたことは誠に喜ばしき事柄でありますが、事業の飛躍に隨伴して事業費が多額の増加を來す點に鑑みまして我々經營當局者としては一層緊張を期し細心の注意を以て本期業績の昻揚を圖り我社の使命遂行に努力を續けて參つた次第で御座います

之より會社業態の內容を說明致しますが之に先だつて電氣事業の統制推移を簡單に申述べることに致しますと

(イ)本店直轄箇所としては承德、牡丹江、佳木斯、海拉爾、凌源及楊家杖子の六箇所でありまして前期末に比し一箇所の増加であります

(ロ)支店としては九箇所で増減なく

(ハ)出張所としては興陽、洮遼、岫巖、臨江及洮南の五箇所であります

(ニ)關係會社としては二十八社でありまして前月末に比し鳳城の買收による減と新たに磐石、富錦、饒雙、海拉爾海倫の五箇所の増加であります

尙此の外に企業計畫中に屬するものが各地に多數ある狀況であります

次に社會業態の內容に亘つて說明致しますが先づ第一に

一、設備の概要に就て申上げますと

(イ)發電設備に於ては一六八、六二三KWとなり前期末に比較して齊々哈爾發電所承德發電所其の他の増設に依り三、〇二一KWの増加を來し

(ロ)變電設備に於ては三一二、一一〇KVAとなり前期末に比較して立山假變電所、四馬路變電所、哈爾濱セメント社會工場假變電所楊家杖子變電所、錦縣變電所安達街變電所等の新設及増設に依り二三、一二〇KVAの増加を來したのであります

(ハ)送電線設備に於ては一三二一、七七六米の亘長を示し前期末に比較して鞍立送電線、白城子送電線、楊家杖子送電線、哈セ送電線等の新設に依り亘長一三四八二〇米の増加を來たし

(ニ)配電線設備に於ては三〇一九、九一五米の亘長を示し前期末に比較しますと亘長七〇、二四六米の増加を來して居ります

二、次に營業狀況に就て申しますと

(イ)電燈數に於ては一、七六四、一七七燈となり前期末に比較し一三七、九六八燈の増加を來し

(ロ)電力契約容量に於ては一六八、四〇九KWとなり前期末に比較し一二、五二八KWの増加を來し

(ハ)電熱契約容量に於ては八二〇二KWとなり前期末に比較し一、五一九KWの増加を來し

(ニ)總販賣電量に於ては二七一、五四四、二七四KWとなり前期に比較して七五五〇八、九七八KWの増加を來して居ります

三、更に關係會社に對する投資に就て申ますと

(イ)株式投資に於ては三、二七七、二〇四圓七〇錢となり前期末に比較し三六九九四三圓三〇錢の増加を來し

(ロ)貸金投資に於ては一、五一〇、六一七圓六七錢となり前期末に比較して二九三五七七圓三八錢の増加を來して居ります

以上申上げました如く業態は益伸張の一途を辿つて居りまし目覺しい發展途上にある滿洲國諸般の產業文化と並行して層一層の發展を豫想し得ますることは誠に同慶に堪へない次第であります

四 興業費利廻

扨說本期の決算成績と致しましては期末利益金として金三、六五九、三二六圓七二錢の利益を計上し得たのでありますが之が興業費九二、三〇八、〇〇〇圓に對する年利廻率は八%となり諸般の入費に急激なる増額を見たるにも拘らず相當の成績を上げ得ましたことは誠に喜ばしき次第でありますが之が計數の詳細に亘つては後刻擔當重役より說明致すことと致します

第四

次に私は以下少しく本年度に於ける事業施設中の主要工事に就て其の概況を申上げることに致します

本年度の主要工事と致しましては

1、新京發電所の増設…(五、〇〇〇KWタービン發電機一台)2、馬家溝發電所増設…(10,000KWタービン發電機一台)3、齊々哈爾發電所新設…(2,000KWタービン發電機一台)4、牡丹江發電所新設(1,000KWタービン發電機一台)5、鶴崗發電所新設…(1,500KWタービン發電機一台)6、承德發電所新設…(20KW重油機關發電機一台)7、周水子一次變電所増設…(6,000KVA)8、立山假變電所臨時新設…(3,000KVA)9、立山變電所新設…(12,000KVA)10、四馬路變電所新設…(15,000KVA)11、安達街變電所新設…(3,000KVA)12、長通路變電所新設…(5,000KVA)13、哈爾濱セメント假變電所新設…(3,000KVA)14、馬家溝變電所新設(10,500KVA)15、道裡變電所新設…(15,000KVA)16、撫鞍送電線第二期工事…(154,000V亘長一二九三粁)17、新京城內送電線新設…(44,000V亘長四・三粁)18、北泰送電線新設…(33,000V亘長10.5粁)19、牡寧送電線新設…(33,000V亘長三粁)

三月中旬新京に於ける 重要商品狀況(上)

＝新京商工會議所調查＝

三月中旬新京に於ける重要商品狀況は新京商工會議所の調查した所に依ると左の如くである

▲大豆＝先物、先旬末十日(陸軍記念日、夕臨時休會)に至り事件以來二週間の休業を續けたる內地株式市場漸く盛明けを見たるに俄然一齊崩落を演ずるところあり、一方歐洲政局も全く見透し困難なる有樣にて休日明け十一日三月限五圓一〇と低落せしが十二日に至り內地株界の落付き恢復と共に斯界も漸く平常に復し十三日三月限五圓三四、十四日五圓三六と依然品薄のため相場殿りを呈し十五日の日曜休日に入れり

休日明け十六日出廻減の折柄供給足不懸念愈々濃厚なるため底意堅調にして三月限五圓三九四月限五圓八と稍々强含裡に立會ひ三月限は五圓四〇迄躍進せしが高値には利喰の賣物ありて反落し五圓三〇搦み保合を辿り跡內地豆粕市場の鈍調を眺めて一般に氣象薄く僅かに五錢方の小浮動を繰り返したるのみにて十九日の北滿農作物實收高發表もさしたる刺戟なく軟調を辿り二十日三月限五圓二八(四月限同事)と商內至極閑散不勢裡に越旬せり

△旬中出來高

三月限	五二六車
四月限	一二八車
計	六五四車

△旬中出來値

	(高値)	(安値)
三月限	五圓四〇	五圓一〇
四月限	五圓三八	五圓二一

▲高粱＝先物大豆の强調につれて十二日三月限二圓五二、四月限二圓六〇、十四日四月限二圓七〇と昇騰を演じ跡大豆の不勢を眺めて十八日三月限二圓六五、四月限二圓七一(新甫五月限二圓七六と發會)旬末二十日には三月限二圓五六、四月限二圓六四、五月限二圓七二とヂリ安商狀を辿りて越旬せり

△旬中出來高

三月限	五二車
四月限	二三車
五月限	一四車
計	八九車

△旬中出來値

	(高値)	(安値)
三月限	二圓七七	二圓四八
四月限	二圓七八	二圓六〇
五月限	二圓七六	二圓七二

▲綿糸布＝內地筋の凡調に反し玆許綿糸布市場は各品を通じ煎れ氣配に商狀靴りを呈したるも駄惑筋の沈默に案外氣乘薄にして只解氷期を控へ實需向の當用商內ありて特に細布軍人の品ガスレは相場の昂騰を招き大尺布、綿糸十六番手のみ纏めたる手合せあり、猶解氷後荷動の難澁と內地市場の商狀變動を見越し機會待ちの商情裡に越旬せり

品名	單價	中旬末	上旬末
撚糸達塔	一梱	二六六圓〇〇	二六六圓〇〇
平糸桂月	同	二三四、〇〇	二三四、〇〇
粗布達塔	一反	七、三五	七、四〇
細布軍人	同	九、六五	八、四二
細布達塔	同	七、九〇	七、九〇
細綾人面	同	五、八五	五、八〇
晝天童見大尺布	同	二、五八	二、五四

日滿緬羊協會

十一年度事業計畫を決定

【東京國通】創立三周年を迎へた日滿緬羊協會では廿六日拓相官邸で評議員會並に理事會を開き會長及評議員會長に永田拓相を推し其他の新役員を決定の後鶴見理事長より十一年度の事業計畫を說明、滿場一致之を承認可決した、十一年度事業計畫左の如し

一、種緬羊購入費として一萬一千五百八十圓を計上して種雌羊五十頭、種雌羊五百頭を購入、これを第四次移民に配付す、尙ほ新たに種緬羊購入奬勵費を設け合計九百二十六圓を計上、外に緬羊改良増殖奬勵補助の爲七千圓を計上

一、朝鮮支部事業費を補助し生產物の販賣斡旋緬羊研究所の助成、講習會及び品評會開催費として六千五百圓を計上

一、關東州緬羊事業援助の爲八百圓を計上

一、技術員の養成及び指導後援をなし滿洲產羊毛加工利用の件も昨年同樣滿蒙毛織會社に委託して試驗を行はしむ

一、更に近年ハイラル方面にて雌羊の海外移出が年々困難となれる傾向ある故將來此地域にのみ限定せず廣く北支方面にも供給地を求むべく同方面の牧羊調查を實施す

日本、天津間無電 四月中旬開通

【東京國通】日を追ふて我國との間が緊密化して行く北支には今迄無線連絡はなく昭和九年六月一日から開通した東京、上海無線通信を利用するか、外國會社たる大北電信の有線によらなければならぬ不自由極まるものだつたが、愈々四月中旬を期して日本、天津間の無線電信が開通の段取りとなつた、これは今回燈臺局長に榮轉した遞信省の外國電信課長岡信捷氏が昨年十二月來北支に赴き同地の遞信事業一般の視察をする傍ら北支當局と直通電信開始の交渉を進めた結果によるものである

この開通によつて從來の如く上海經由や大北電信會社の手を煩さずして一ケ月約五千通の北支向け電報が相互に交換される事となり電報料金の海外支拂が減少されるのは勿論北平その他北支各地との通信が非常に圓滑となる譯である

長

東大の那須教授は「我々が新內閣に望むところは、この農村問題の解決を策するに當り、單に視野を農村のみに局限することなく、廣く國內および國外の政治經濟的諸潮流を省察し、民族的發展並びに革新社會建設の一重要礎石として農村の改造と更生とを策すべきことこれである」と言つてゐる▲潮の流れ、時代の流れの省察は、まことに一小局部のみにゐては判らないであらう、記者は昨日三等列車の一隅に滿人農民と肩並べつゝこの新京公主嶺間の十五年間の變化を省りみてゐた▲昔ランプの油を買つて歸つた子供が、今はメイド・イン・ジャパンの靴下を買つて歸るのだ時の流れの激しさは、聳え立つ電氣裝置にも、この地方の現段階に於ける時代色に反映してゐる▲「爽氣寒淅瀝、巷有從公歎」

土建ニュース

豫告工事

●市公署

▲西四馬路深井戶連絡鐵管取付其他工事

入札期日 二十八日

●國都建設局

▲鐵筋コンクリート入穴周壁築造並に車道碎石舖裝工事

▲マンホール周壁築造工事

以上二件入札期日 廿八日

決定工事

●滿鐵保線區

▲新京驛構內吾嘲軌道側修繕工事

單獨 一千九百四十八圓 水上洋行

本工事は特殊工事に付專業者水上登二に單獨入札す

▲對房子保線工區材料置場擴張工事

四七九、一八	島山組
四一、七九	丸山組
三六九、六〇	池內市川組
四〇〇、〇〇	蔦井組

右工事豫算超過に付き再入札

決定工事 ●電々會社

▲大連放送局新築工事

落札 四萬七千四百八十圓 池內市川組

四九、八〇〇、〇〇	石井組
五三、五〇〇、〇〇	蔦井組
五三、六八〇、〇〇	鈴木組
五五、五〇〇、〇〇	伊賀原組
五六、四〇〇、〇〇	草場組
五七、四〇〇、〇〇	野星組
五八、九〇〇、〇〇	辻組

●電業公司

▲安東發電所一部改造工事

落札 一萬二千七百二十五圓 草場組

一三、九〇〇、〇	吉川組
一四、九〇〇、〇	福井高梨組
一四、三〇〇、〇〇	福昌公司

決定工事

●營繕需品局

▲哈爾濱地畝管理局煖房室其他新築工事

落札 二万二千六百七十五圓 天一公司

二三、六八〇、〇〇	倶部組
二七、三二一、〇〇	藤澤工務所

商況欄(三月廿六日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊	一九片一六分三
同 先限	一九片八分七
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	四九留比六分七
米英爲替	四弗九五仙〇〇
米日爲替	二八弗九〇仙
米支爲替	三〇弗一二仙
スチール	六三弗八分三
アナゴンダ	三四弗四分三
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志二片八分五
印日爲替	七七留比四分一

▲米棉

現物	一一仙四六
三月限	一一仙二四
五月限	一〇仙八八
七月限	一〇仙七四
十月限	一〇仙一四
十二月限	一〇仙一六
一月限	一〇仙一七

▲印棉

ブローチ	一九六留比
オームラ	一八〇留比
ベンゴール	一四七留比

▲市俄古小麥

五月限	九六仙〇〇
七月限	八八仙〇〇
九月限	八五仙四分三

▲カルカッタ麻袋

嘗筋	二三留比〇〇
鐵筋	二〇留比二分一

金銀市況

●上海標金

昨引	二四六、五〇
本寄	二四六、七〇
歩	二四六、九〇

●大連金鈔票

現物

寄付	四七、一〇
歩	四八、六〇
引	四八、八〇
高	四七、八〇
安	四七、〇〇

四月十二日限 四月廿七日限

	四月十二日限	四月廿七日限
寄付	九八九、〇〇	九八七、〇〇
歩	九八九、五〇	九九九、〇〇
引	九八九、二〇	九九九、一〇
高	九〇、五〇	九九九、二五
安	九〇、五〇	九八、六五
出來高		六五萬

●大連鈔票銀大洋

現物

寄付	一〇六、四〇〇
引	一〇六、八〇
出來高	九一萬

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向

第一回 賣	一〇三、七五
第一回 買	一〇四、二五〇
第二回 賣買	—
第三回 賣買	—

▲倫敦向

第一回 賣	一志二片二分一
第一回 買	一志二片一六分九
第二回 賣買	—
第三回 賣買	—

▲紐育向

第一回 賣	二九弗一六分
第一回 買	三〇弗〇〇〇
第二回 賣買	—
第三回 賣買	—

▲大連爲替

▲上海向	一〇五、〇〇 / 一〇四、八〇〇
出來高	四、八〇〇 / 一八萬
▲煙台向	五、一〇〇〇 / 四、九〇〇〇
	四、六五〇〇

一〇四、八〇〇〇 一〇四、七〇〇〇 一〇四、九〇〇〇 一〇四、八〇〇〇

▲阪神日米爲替

第一回 賣	二八弗四分三
第一回 買	二八弗一分三

▲阪神日英爲替

第一回 賣	一志二片三三分一
第一回 買	一志二片三二分一

各地株式市況

▲東京株式(短期)

	寄	引
東新	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	—
滿鐵	[illegible]	—
日產	[illegible]	—
大新	[illegible]	—

▲大阪株式(短期)

	寄	引
大新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日營	[illegible]	—

▲大連株式(短期)

	寄	引
五品	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
鈔新	[illegible]	—
滿鐵	[illegible]	—
東新	[illegible]	—
二產	[illegible]	—
日新	[illegible]	—
鐘	[illegible]	—

▲奉天株式(短期)

	寄	引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	—
滿鐵	[illegible]	[illegible]
二新	[illegible]	—
電甲	[illegible]	[illegible]
同乙	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]
滿興	[illegible]	[illegible]
優毛	[illegible]	—
日先	[illegible]	—
東晉	[illegible]	—
亞	[illegible]	—

各地商品市況

▲大阪棉糸

	寄	引
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

	寄	引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪人絹

	寄	引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

各地特產市況

●大連 大豆

	寄	引
袋入	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]

●同 豆粕

	寄	引
現物	[illegible]	[illegible]
三月限	—	—
四月限	—	—
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	—	—

●同 豆油

	寄	引
現物	[illegible]	[illegible]
五月限	—	—
六月限	—	—

●同 高粱

	寄	引
現物	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]

●哈爾濱大豆

	寄	引
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
出來高	一一〇車	

●同 小麥

	寄	引
四月限	—	—
五月限	—	—
六月限	四、八〇〇	四、八〇〇
出來高	五〇車	

●神戶豆粕

	寄	引
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]

新京取引所市況 (三月廿八日前場)

現物(一石値段)

	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—

	寄	引	出來高
定期(混合百斤値段) 玉蜀黍	九六〇	八六〇	一車
同			五車
大豆 三月限	[illegible]	—	七車
四月限	[illegible]	—	一車
五月限	[illegible]	—	四車
高粱 三月限	二、[illegible]	—	—
四月限	二、二七	—	二車

第三回決算公告

貸借對照表 昭和十年十二月卅一日現在

資產ノ部	
固定資產	九七、三一〇、五七八・三五
發電所	四〇、一一九、五五〇・一〇
變電所	七、二三一、九四六・五三
送電線路	一〇、九四一、八三〇・一〇
配電線路	一六、五三七、八〇五・二七
屋內設備	八、六一三、一〇五・五五
諸施設	九、〇二四、九九五・六九
建築工事假勘定	五、〇〇一、一六一・〇三
關係會社投資	四、七八七、八二二・三七
關係會社有價證券	三、二七七、二〇四・七〇
關係會社貸付金	一、五一〇、六一七・六七
流動資產	九、一三八、一二三・〇五
貯藏品	六、九四〇、〇四四・四〇
商品	四五九、八六〇・〇二
未收金	五、五三三、四三三・〇一
有價證券	二四四、二四五・〇三
受取手形	七九四、七六六
差入保證金	三四四、〇五・八一
預金	八八三、五五四・九四
爲替勘定	五〇、〇〇〇・〇〇
現金	六七、八二七・〇五
雜勘定	二、六一四、四三八・五八
假拂金	一、九八五、七八七・九九
社債差金	一〇五、〇〇〇・〇〇
創立費	一九二、四五〇・六〇
受入證券	一一、五六二・二一
保證債務見返	三二九、八二七・六八
計	一二五、八五〇、九六一・〇五

負債ノ部	
株主勘定	九一、〇七五、〇〇〇・〇〇
資本金	九〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	四二〇、〇〇〇・〇〇
從業員退職給與積立金	一〇五、〇〇〇・〇〇
爲替差損塡補積立金	二〇〇、〇〇〇・〇〇
特別積立金	三五〇、〇〇〇・〇〇
長期負債	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
社債	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
短期負債	十、八五六、九一五・二四
未拂金	二、四五五、八九五・六四
短期借入金	一、五〇〇、〇〇〇・〇〇
受入保證金	一、〇七六、七九五・五七
社員貯金	一一五、九七〇・六九
社員身元保證金	一、六七三、六七五・五一
社員共濟勘定	九〇、七七九・八二
雜勘定	九九一、〇四七・二九
假受金	五四八、六八七・四八
差入證券	二一、〇〇〇・〇〇
貨幣交換剩餘	九一、五三三・七八
保證債務	三二九、八二七・六八
利益金	三、九二八、九九八・九四
前期繰越益金	二七〇、六七一・八二
當期利益金	三、六五九、三二六・七二
計	一二五、八五〇、九六一・〇五

利益金處分

一、金三百六十五萬九千三百二十六圓七十二錢 當期利益金

一、金二十七萬六百七十一圓八十二錢 前期繰越益金

計 金三百九十二萬九千九百九十八圓五十四錢

之ヲ處分スルコト次ノ如シ

一、金卅七萬圓 法定積立金

一、金十萬圓 從業員退職給與積立金

一、金八萬圓 役員賞與金

一、金二百七十萬圓 株主配當金(年六分)

一、金四十萬圓 特別積立金

一、金廿七萬九千九百九十八圓五十四錢 後期繰越金

右之通候也

昭和十一年三月二十七日

滿洲電業株式會社

社長	吉田豐彥
副社長	入江正太郎
副社長	孫澂
常務取締役	小池寬一
常務取締役	高橋仁一
常務取締役	石橋米一
常務取締役	王聘之
取締役	林鶴
取締役	岡村金藏
取締役	溫泉光和
取締役	古泉光男
取締役	迫喜平次
取締役	奧村愼次
取締役	趙壽芳
常任監查役	高橋貫一
監查役	巴英額
監查役	谷川善次郎

右調査候處相違無之候也

大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞 朝刊

定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河栗忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

對支外交を多角的に根本的修正要求さる
有田大使を迎へ重要協議 本日更に續開せん

有田駐支大使を迎へ關東軍、大使館首腦部との懇談會は二十八日午後三時から軍司令部會議室で

▲關東軍側、板垣參謀長、河西第一、河邊第二、永津第三各課長、田中、花谷、秋永、山岡、專田、綾部、武井の各幕僚並に軍政部最高顧問佐々木少將

▲大使館側、守屋參事官、大鷹、山本、吉田、結城各書記官ら關係者出席の下に開催、先づ坂垣參謀長より滿洲國外交問題に關する一般的問題を説明、次いで河邊大佐が對支政策、田中中佐が同樣對支問題、花谷中佐が滿洲國の一般問題に關し夫々説明があり、これに對し有田大使から質問があつて同五時二十分散會した會議は二十九日も續いて午後四時から續開開會されるが、二十九日は對ソ、對外蒙問題について關東軍の抱懷する意見の説明がある筈である、昨日の會議においては關東軍の對支政策の强硬意見が進言されたものと確信されるが南京政府を交渉主體とする外務省の對支態度に對し相當突込んだ批判が行はれ更に北支、中支、南支と別個に交渉を行ふべしとの對支多角的外交の確立を要求し從來の霞ヶ關外交に對し根本的修正を求めたものとみられてゐる、右に對し有田大使は中央に傳へることを約したとみられるが同大使は既に外務大臣に内定を見てゐることであるから關東軍の强硬意見が中央に容れられゝば急速に我が對支外交の徹底的刷新が期待される譯である

昨夕有田大使 植田軍司令官訪問

有田大使は二十八日午後五時二十五分官邸に植田大使を訪問約三十分にわたり會談を遂げ同六時より軍人會館における大使館、關東軍の合同歡迎晩餐會に出席した、なほ同大使は關東軍との懇談會が二十九日も續開されるので出發を二、三日延期することゝなつた

“潜水艦使用制限 存續方式を改めよ” 藤井代理大使英國側に提議

【ロンドン廿七日發國通】藤井代理大使は廿六日午前十時四十五分英國外務省にクレーギー參事官を訪問、本省の訓令に基き潜水艦使用制限案に就き次の見解を表明した

一、ロンドン條約第四編潜水艦使用制限條項を存續する事に就ては原則上帝國政府に於て異存はない

一、但し存續形式に就てはなるべく新條約の締結乃至類似の方式を避け簡單に取運び度い

一、今回の新條約に就ては潜水艦使用條項が議定書の形式で獨立してゐるが右方式は帝國政府の希望に副はないから右條項の存續方式に就き再考を煩はし度い

以上藤井代理大使の提言に對しクレーギー參事官も充分考慮する旨を公約、藤井代理大使は會談四十五分の後十一時半外務省を辭去した、同條約存續の形式に就ては帝國政府に於ても再考を加へる方針と確聞する

尚同大使は廿七日正午も續引いて會見、午後一時近くまで同問題に就て協議した

佛ソ條約 批准交換完了

【パリ廿七日發國通】フランス代表フランダン外相とソヴエット代表リトビノフ外務人民委員長は廿七日午後六時フランス外務省に於て相互援助條約の批准交換を完了、同條約は即日效力を發生した

全米領事會議 六月初旬華府で開催

【東京國通】齋藤駐米大使の主催に依る全米領事會議は六月初旬四日間の豫定を以てワシントンに開催される事に決定した旨廿八日同大使から外務省に報告があつた全米領事會議は從來數度開催され有效なる事實を表明されて居たが、今回は特に松永米洲巡閲使これに參加し最近の日本事情を詳細に傳達し、日米通商調整問題、在米邦人保護問題、日本文化紹介問題等當面の諸重案件に就き事務の連絡を圖り領事間の圓滑なる事務能率を高めんとするものである

今次事件に伴ふ 佐官級異動昨日發表

【東京國通】廿八日午前十一時陸軍省發表＝今次事件の佐官以下責任者の處罰及び之に伴ふ異動は昨廿八日午前十一時發令せられたが主なるもの次の如し

兵器本廠附 歩兵大佐 牛島滿
補歩兵第一聯隊長 麻布聯隊區司令官 歩兵大佐 湯淺政雄
補歩兵第三聯隊長 歩兵第六聯隊長 歩兵大佐 井上政吉
補近衛歩兵第三聯隊長 歩兵學校教官 歩兵大佐 倉永辰治
補歩兵第六聯隊長 羅南聯隊區司令官 歩兵大佐 南雲親一郎
補歩兵第七十八聯隊長 第二師團參謀長 歩兵大佐 中尾忠彦
補舞鶴要塞司令官 歩兵第十九聯隊長 歩兵大佐 島本正一
補第二師團參謀長 敦賀聯隊區司令官 歩兵大佐 下枝金之輔
補歩兵第十九聯隊長 第六師團參謀長 歩兵大佐 間崎信夫
補基隆要塞司令官 歩兵第二聯隊長 歩兵大佐 橫山勇
補第六師團參謀長 軍務局軍事課長 歩兵大佐 村上啓作
補陸軍大學兵學教官 士官學校付 歩兵大佐 山田梅二
補仙臺教導學校長 歩兵大佐 丸山定
補豐橋教導學校生徒隊長 歩兵大佐 石黒貞藏
被歩兵第二聯隊長 東洋大學服務 歩兵大佐 服坂次郎
補麻布聯隊區司令官 近衛野戰重砲兵隊長 歩兵大佐 町尻量基
補軍務課長 旅順重砲聯隊長 歩兵大佐 北島驥子雄
補野戰重砲第七聯隊長 陸軍大學兵學教官 砲兵大佐 澄田財四郎
補參謀本部課長 砲兵大佐 河邊虎四郎
補近衛野戰重砲兵聯隊長 陸軍省軍務局軍務課長 砲兵大佐 西村琢磨
補〇〇部隊長 參謀本部課長 歩兵大佐 牟田口廉也
補〇〇部隊長 參謀本部課長 歩兵大佐 井出宣時
〇〇附被仰付 化學研究所々員 砲兵中佐 森田廣
補旅順重砲兵聯隊長

(以下待命の主なるもの)

歩兵第一聯隊長 歩兵大佐 小藤惠
歩兵第三聯隊長 歩兵大佐 澁谷三郎
近衛歩兵第三聯隊長 歩兵大佐 園山光藏
豐橋教導學校生徒隊長 歩兵大佐 小松康高
野戰重砲兵第七聯隊長 砲兵大佐 眞井鶴吉
歩兵第一聯隊大隊長 北平駐屯歩兵隊長 歩兵中佐 長谷川正憲
補名古屋醫科大學服務 歩兵少佐 北郷格郎
歩兵第三聯隊大隊長 歩兵少佐 木江政一
歩兵第三聯隊大隊長 歩兵少佐 野津敏
近衛歩兵第三聯隊大隊長 歩兵少佐 稻見克巳
野戰重砲兵第七聯隊大隊長 砲兵少佐 下遠甲太郎

陸軍異動評

【東京國通】陸軍では廿八日の發令を以て今次不祥事件の佐官以下責任者の懲罰並に之に伴ふ異動を發表したが、今回の異動は寺内陸相が肅軍の第一歩として特に事件關係部隊長の人選に留意すると共に中央部課長の詮衡には適材適所によつて新人を拔擢したもので、更に今後徹底的に軍紀の肅正をする上から人事の刷新が行はれるものと見られる新陸軍省軍事課長の要職に就いた町尻量基大佐は士官學校廿一期出身で士官學校、陸軍大學共に優等で、現在廿一期各兵課を通じてトップを切つてゐる秀才でフランス大使館補佐官、參謀本部々員、侍從武官などを歷任してゐる人格高潔、頭腦明晰、斷行力もあり寺内陸相のもとに軍事課長としては最適材を得たものである、又新歩兵第一聯隊長牛島大佐は先頃まで陸軍省高級副官であつた人で人格高潔の士であり、湯淺歩兵第三聯隊長、井上近衛歩兵第三聯隊長、北島野戰重砲兵第七聯隊長は何れも部内でも人格の立派な嚴格の士であるから軍紀の肅正には持つて來いの人で之等の隊長に依つて軍容は建直されるものと期待を持たれてゐる

特許法並移讓法 六月より實施されん

【奉天國通】昨年七月以來幾度か公布を傳へられた滿洲國特許法及び移讓法は其後種々の事情により實現の遲延を餘儀なくされてゐたが、愈よ來る四月十五日に公布され六月より實施をみる事に決定、四月中に總務廳長會議及び閣議を開き其議決を經て四月匆々勅許を仰ぐことになつた

蒙古共和國の 中央執行委員會終る

【ウランバートルホト「庫倫」廿八日發國通】廿八日蒙古共和國中央執行委員會第廿回會議は廿七日夜を以て終了を告げたが、右會議に於てソ蒙兩國間の同盟確認その他内治外交の全分野に亘り重要決議を採擇した、委會の決定内容次の如し

一、委員會は蒙古共和國政府の外交政策を全面的に支持する、特にソヴイエト政府との間に締結した相互援助條約に全幅の支持を聲明する

一、滿洲國との間に於ける國境紛爭に就き政府の政策を承認する

一、蒙古人民共和國の國家的獨立を擁護するため政府の遂行した一切の工作を承認する、特に陸軍兵力の增加並に技術的裝備の改善軍幹部の素質向上策等に同意を表明する

更に委員會は内政の分野に於ても政府當局の處置を承認した、特にゲンダン首相が病氣のため長期間に亘り靜養を必要とするに徵し同首相の辭職を許可し後繼首相として現中央執行委員長アモル氏を選出中央執行委員會委員長の後任にはトクソム氏を選擧した

ロカルノ協定案内容と英國の外交方針 イーデン外相下院で闡明

【ロンドン廿六日發國通】ロカルノ會議の協定案が發表されて以來贊否の議論が英國の朝野に喧しいが、イーデン外相は廿六日午後三時四十五分より下院に於て協定案の内容に就き詳細説明を加へ大要左の如く政府の外交方針を闡明した

ドイツ政府今回の一方的行動は理論的に支持し難い、英國政府はライン保障條約に基き佛白兩國政府に對して明確な公約を與へてゐる佛白兩國政府はライン非武裝地帯からドイツ軍を撤收させる事が出來ない場合には先づ金融、經濟上の制裁をドイツ政府に加へ逐次强硬手段に出る事を主張した然しながら英國政府は飽くまで交渉の見地に反對しあくまで交渉によつて國際間の信頼を恢復するに努力した、尤もロカルノ會議の協定案は要するに提案に外ならず決して最後通牒ではないが、ドイツ政府が寄與參畫しない限り建設的工作は殆んど不可能に陷らう

次でイーデン外相は伊佛白三國軍參謀本部間の會談に言及し英國政府としては今回の取極めにより何等新たな政治的義務を負擔してゐない旨を反覆力説し最後に獨佛兩國政府の接近を要請して次の如く述べた

獨佛兩國政府が胸襟を開いて兩國間に介在する諸懸案に近付かぬ限り歐洲の平和を確保する事は出來ない、英國政府としては獨佛兩國の見解が對立する限り近き將來兩國何れかの見解に拘束されて交渉に入る事は出來ぬ

きのふ磯谷少將 リ氏と會見

【上海廿八日發國通】軍務局長に榮轉の磯谷少將は卅日出帆の連絡船で急遽赴任の途に上るが、これに先立ち廿八日午後五時半英國經濟顧問リースロス氏と第四次會見を行ひ北支問題を中心に意見の交換を遂げる事となつてゐる、リースロス氏は同會見後再度北上して北支諸情勢の再調査を行ふ豫定である

伊エ紛爭講和方式 ム首相から通告

【ローマ廿七日發國通】ムッソリーニ首相は廿七日聯盟十三人委員會議長マダリアガ氏に對し非公式に通告を發し伊エ紛爭講和方式に關するイタリー政府の提案を提示すると同時にローマに於て右方式に基き協議を遂げたき旨要請したと解されるが、問題のムッソリーニ首相の講和方式は左の如きものと傳へられる

一、聯盟は現在イタリーに對して加へられてゐる諸制裁を停止し今後も新たに制裁を斷行せざる事

一、聯盟はイタリー政府を侵略國なりと決定した決議を撤回する事

一、エチオピア政府に對して一定領土に於けるイタリー政府の權益を要求するイタリー政府の主張に對し聯盟はエチオピア政府に受諾拒否を示唆せざる旨確約する事

一、右提案を基礎として先づローマに於て聯盟和協委員會議長と非公式折衝を開始する事

右ムッソリーニ首相の通告に對しマダリアガ議長はイタリー政府と講和方式を協議する爲めローマに赴く以上當然アヂスアベバにも出かけねばならないが、之は時間的に不可能であるとの理由の下にローマ行を斷然拒否するものとみられてゐる

南前軍司令官 ラヂオで離滿挨拶

【大連國通】南前軍司令官は廿九日午後七時十五分來連するが卅日大連に於る官民送別會臨席に先立ち會場たるヤマトホテルから午後六時過ぎよりマイクを通じ全滿に離別の挨拶を述べる事となつた

“辭職なぞ考へても居らぬ” 松岡總裁談

松岡滿鐵總裁は二十八日午後特別列車において植田軍司令官と會談後左の如く語つた

植田司令官との會見は單なる御挨拶だけだつた別に急いでお話しすることもない勿論滿鐵改組問題などを話す譯はないじやないか、それに僕に關する限り改組問題はない、たゞ機構改革問題は目下練つてゐるが結局滿鐵、國線の經營一元化が重要なポイントとならう、これとても拙速を選ぶ必要もあるまい、僕の更迭が傳はつてゐるといふけれど政黨内閣時代と世の中が違つてゐるし五年間總裁をやれといはれたのだから僕も誠心誠意國家のために盡したいと思つてゐる、何も軍司令官が更つたからといつて滿鐵總裁が更迭する筋合でもあるまい

故川崎商相 張總理等弔電

張國務總理大臣並に長岡總務廳長は川崎商工大臣の逝去を悼み本昨八日鄭重なる弔電を發した

魔手保定に至る

【錦州國通】最近河北省保定より歸來せる者の語るところに依れば同地は山西省に近き爲め共產軍の便衣隊多數入り込み盛んに共產主義の宣傳を爲しつゝあり、又共產軍の飛行機が保定市街の上空より宣傳及び住民を威壓せる爲め同地方の一般民心は極度に動搖を來し資產家連は早くも北方へ避難の準備中であると言はれ、保定城内は多數憲兵が出動して共產軍の侵入防止に努め、夜間は交通を遮斷して嚴重警戒中にしてこれが爲め保定城内の商取引は目下杜絶の狀態にありと

紅軍に怖ゆる 太原市内

山西省に於ける共產黨の勢力は目下猶大ならざるも最近全省を通じて約二百名の黨員、時に高平に於ては四十余名が銃殺されたとの報あり太原の人心は表面平靜を裝つてゐるが各地よりの避難民によつて眞相が傳へられるため極度に動搖を來し、暴動起るとの流言も切りに飛び婦女子を北平に避難せしめる者も多い、實際共產黨員も多數潛入せる模樣であるが太原では市内住民に徽章を附けさせ、城門では通行人に身體檢査を行ふ等嚴重なる警戒をなしてゐる、尚城外に居住するものは續々入城しつゝあるが以上は太原よりの情報なれば相當確實なものと見られてゐる

山西の共產軍 南部沃野地帯に入る
中央軍動かず閻氏大狼狽

【天津廿八日發國通】山西省中陽、石樓、双池方面を根據地として居た徐東海の共產軍七、八千は同蒲鐵道を突破し山西省南部洪洞、新降、曲沃、浮山を結ぶ線曲に入り主力を該地帶に異動した、右地帶は山西省の主要なる沃地にして共產軍はこゝに食料問題の解決を見たので今後持久戰に入る模樣である

尚同蒲線沿線に駐屯する中央軍は右共產軍中部進出に對しては例の如く何等攻擊的態度に出でず頗る不可解な態度を持續して居り閻錫山氏も初めてこの中央軍の誠意なき態度を目前に見て非常に狼狽してゐる

植田軍司令官の着任披露宴

新任關東軍司令官特命全權大使植田謙吉大將は三十一日午後六時三十分からヤマトホテルに日滿各界代表を招待着任披露宴を催す

政府の歡迎宴

植田新任關東軍司令官に對する滿洲國政府の正式招宴として來る四月二日午後六時よりヤマトホテルに於て張國務總理大臣以下各部大臣主催の下に盛大なる歡迎宴が催される事となつた、尚同夜は日本側各機關首腦者並に政府側よりも簡任官以上の官吏もこれに陪席する筈である

小川新商相略歷

【東京國通】財政通として知られる新商相小川鄉太郞氏は岡山縣生れ本年六十一歲明治三十六年東大政治科を卒業し銀時計組の秀才である、大正二年法學博士の學位を受け昭和四年には大藏政務次官となつた、大正六年以來代議士に當選すること六回現に民政黨顧問として黨内に重きをなして居る

日本の窒素工業 世界第二位に躍進

【東京國通】窒素協議會調査による日本の窒素工業は創始以來短日月であるが昨年末にドイツに次で世界第二位に躍進し新興化學工業國たるの眞價を發揮してゐる、即ち昭和六年末には十九工場、生產能力廿四萬五千二百九十キロトンであつたものが昨年末には廿五工場、卅六萬一千二百キロトンに躍進した

松室少將天津着任

【天津廿八日發國通】駐屯軍司令部附松室少將は廿八日午前六時半着津したが、午后早速司令部に赴き多田司令官、永見參謀長以下幕僚と協議をなした、尚ほ廿九日宋哲元氏は冀察政務委員會要人と共に來津し松室少將と顏合せをなす筈である

人事往來

▲松岡滿鐵總裁 二十八日午後大連へ
▲山崎理事 同
▲竹下關東州廳長官 同來京大連より
▲星出正雄氏(會社員) 同内地へ
▲三浦奉天特務機關長 同
▲松浦貞良氏(同) 同大連へ
▲牛尾忠氏(官吏) 同奉天へ
▲小田斌氏(雜誌社長) 同公主嶺へ
▲隱常次郎氏(土木請負業) 同ハルビンへ
▲中澤公福氏(同) 同
▲森岡正平氏(吉林總領事) 同吉林へ
▲石井貫一氏(滿洲國官吏) 同來京中央ホテル
▲吉井武二郎氏(居場經營) 同

航空往來

▲三原種雄氏(官吏) 二十八日午前ハルピンへ
▲平松節太郎氏(同) 同
▲村松孝岡氏(同) 同
▲川島少佐 同チチハルへ
▲田久保岩松氏(砲兵大尉) 同
▲岡田四十四郎氏(同) 同
▲藤澤義出氏(商業) 同
▲水野喜作氏(請負業) 同新京へ
▲金澤六郎氏(新京航空會社) 同午後奉天より

南滿

滿鐵本線曲線勾配の改良工事に着手

大哈十二時間連絡實現に邁進

【大連國通】滿鐵社線本線の曲線勾配等の改良工事は十一年度以降三ヶ年繼續にて着手される事となり十一年度は約百萬圓を以て急を要する曲線の改良から着手する事となつたこれが完成の上は特別急行「あじあ」は大連—新京間に於て卅分間、京濱線に於て一時間短縮し大連—ハルビン間の十二時間連絡が實現する筈である

大連放送局新局舍 廿八日地鎭祭

【大連支社發】大連放送局の新局舍は總工費四十萬圓で新築決定の處いよ〳〵二十八日午前十時より西部大連聖德公園東北側敷地に於て地鎭祭を擧行、同局舍は電々があらゆる近代放送技術を採用して東洋に誇る放送局として出現することになつて居り完成の曉は聖德公園に異彩を放つことであらうと期待されてゐる

民間隱匿の銃器を警務局に押收

盤山縣農務會長の逮捕により

【錦州國通】盤山縣農務會長張潤身が不法に銃器、彈藥類を隱匿してゐる事實を探知した當局では直ちに本人を逮捕すると之に刺戟された同縣内の土豪は一齊に恐怖を感じつゝあつたが、この擧に乘じて縣警務局は大活動を開始し現在までに銃器類百十三、彈藥類千二百八十四を押收した、而して縣當局では尚引續き今後の工作上に惡影響を及ばしめざる爲前記の押收物所有者は處罰しない方針である

土肥原、三浦新舊特務機關長 歡送迎會

【大連國通】前奉天特務機關長土肥原中將及び新任特務機關長三浦少將に對する旅大官民合同歡送迎會は二十七日午後六時より大連ヤマトホテルで開催された、竹下州長官、中島要塞司令官其他百五十餘名出席、丸茂大連市長より歡送迎の挨拶、土肥原中將、三浦少將の謝辭あつて同八時半散會した

南滿工專附屬 職業教育部 名稱改訂

【大連支社發】南滿工業專門學校附屬職業教育部では每年優秀なる徒弟の養成に努めてゐるがこれが名稱改訂方に關し種々研究中の處愈よ四月一日より工專附設工業實務學校と改稱することになつた

吉林黎明舞踊 發表會開催 けふ公會堂で

【吉林支局發】當地の黎明舞踊會支部は創立以來一年有半の年月を經て藤井先生の懇切熱心なる指導と幼ないお孃さん達の眞劍なお稽古とによつて近來メキ〳〵と上達振りを示してゐるので、二十九日晝夜公會堂に於て第三回の發表會を開催することゝなつた、目下練習中の柳の雨、お夏の唄、お柳戀しや、勸進帳の唄などは中々子供とは思へぬ程の出來榮えであるから、開演の日には讚嘆の聲がこの可愛い天使達の頭上に嵐の如く注がれることであらう

朝鮮

朝鮮肥料統制法 單獨制令公布

農林局準備を進む

【京城支局發】肥料統制法は新政府の手に依つて來る特別議會に提出されることになつたが朝鮮に於ては殊に肥料の特殊事情からその必要を痛感されてをり、同法が議會を通過愈よ施行されることになれば無論朝鮮としても施行する筈で農林局では準備を進めてゐる、併しその場合朝鮮としては特殊事情をこれに加味するの必要から石油業法の例に倣ひ朝鮮獨自のものとすべく單獨制令を以て公布されることにならう

朝鮮鐵道局 新線工事

【京城支局發】朝鮮鐵道局現計畫の廻設線中工事未着手延長は三月一日現在五百九粁九その內譯は左のごとくである

平元線五三粁七、滿浦線四四粁五、東海線三百一粁三、白茂線八七粁二、慶全線一一七粁五

而して鐵道局では十一年度に於いて滿浦線四十四粁五に全主力を注ぎ年度內全工區に着手する爲平元線の外慶全線南部及び白茂線は幾分消極的になるかとみられてゐる

日本紡績 愈よ朝鮮進出

永登浦に工場新設

【京城支局發】獨り半島進出を控へてゐた日本紡績では愈よ今回機熟したと見え朝鮮での企業を畫策中であるが、新しく京城南部の工場地帶永登浦に大紡績工場建設の意を固めたものゝ如く目下極秘裡に關係方面との間に準備を進めつゝあり大いに注目されてゐる

全鮮簡易保險 加入者數

【京城支局發】朝鮮簡易生命保險の二月末現在における契約件數は內地人二十三萬八千七百五十七件、朝鮮人五十七萬四千四百件、合計八十一萬三千百五十七件であるが、その保險料は八十萬九千百四十八圓九十錢であつて之が保險金額一億五千九十五萬三千百九圓に上つてゐる、契約者一件平均保險料九十九錢五厘同保險金額百八十五圓六十錢といふ勘定である、なほ契約者の地方分布狀況は左の通りである

▲京畿十七萬三十六件▲忠北二萬三千百二件▲忠南五萬二千五百七十八件▲全北五萬四千五百十件▲全南六萬三千七百三十一件▲慶北六萬一千九百二十四件▲慶南九萬六十六件▲咸南五萬四千八百四十六件▲咸北四萬四千三十九件▲江原三萬三千六百五十五件▲黃海四萬六千五百十六件▲平南六萬三百九十件▲平北五萬七千七百六十四件

遞信局の催 昭和十一年度初日に於る

【京城支局發】總督府遞信局に於ては來る四月一日即ち昭和十一年度の第一日たる事業年度上の元日を契機として從業員の事業精神を新にし一層遞信精神の振起と實行との徹底を期し更に迎ふる多事多難の新年度に於ける全從業員の覺悟と使命の達成を企圖する爲朝鮮神宮前大廣場に於て曩に制定したる遞信歌を齊唱し次の實行的大行事を行ふことゝなつた

一、朝鮮神宮團體參拜
一、皇居遙拜
一、國民精神作興に關する詔書捧讀
一、遞信局長訓話
一、朝鮮遞信歌齊唱
一、ラヂオ體操
一、神宮禮拜

北滿

迫る凱旋を外に善戰寧日なし

伊東部隊麾下各部隊

【ハルビン國通】伊東本部隊麾下の各部隊は迫る凱旋を外に必死の討伐に寧日ない有樣であるが、廿七日又左の如き戰鬪情報が司令部に入つた

一、北境地區中澤部隊の小林部隊は廿五日午前五時突如二道河子山中に夏雲階匪約二百が侵入したとの報に接し直ちに現地に急行、同七時二道河子軍警と協力の下に攻擊を開始し機關銃四を備へ圍壁を繞らせる山寨によつて頑强に抵抗する該匪團と激戰實に七時間の後擊滅した、敵の損害遺棄死體卅、死馬廿頭、負傷多數の見込み
我損害戰死十、負傷八(氏名未詳)

二、根木部隊の中島部隊は擾馬溝西南方約十三キロの密林中に潛入する九標匪二百五十名が蟠居せるを探知廿五日未明現地に急行午后二時半より攻擊を開始したが敵匪は堅固なる山寨に據つて頑强に抵抗を續けて激戰は夜半に至るも續行中である、一方この報に接した根木部隊主力は途中小匪團を蹴散らしつゝ廿六日現地に急行した、此戰鬪により我方は兵頭得一少尉が戰死した他數名負傷し、敵匪又多大の損害ある模樣なるも詳細不明である

地方施設移讓問題(下)

整調せらるべき有償無償問題

—滿鐵機構改革への拍車—

元來屬人的の治外法權と、屬地的の附屬地行政權とは、おのづからその趣を異にしてはゐるが、これが撤廢乃至調整または移讓について、附屬地行政權と治外法權とを不可分的に考慮し措置することが妥當とせられ、かつその方向に對して實踐が進められんとしつゝあるのは、一面において附屬地行政權の調整移讓の要求せらるゝ動機が、治外法權撤廢のそれと同一であることにもよるところであるが、もし治外法權のみ撤廢せられて、なほ附屬地行政權の依然として存續する場合は滿洲國の立法、司法、行政各般の統一運營の上に局部的ながら多大の支障を與へ、折角の治外法權の撤廢も、著しくその效果を減殺するの結果を招くこととなるがためである。

この建前より見て、附屬地行政權の調整乃至移讓の實踐が、治外法權の撤廢と、不可分的に考慮せられ、かつ措置されんとしつゝあるのは、極めて妥當であると同時に、それはまた必然にして、ぜひさうなくてはならないことでもある。

×　×

かねて附屬地行政權の移讓は、日本の特殊權益を拋棄乃至縮小するものであるとなしかつ在留邦人が三十年來蓄積培養し來つたところのものを崩壞せしむるに忍びずとの見解において、これに反對を稱へる向もないではなかつたが滿洲國成立前と成立後とではわが特殊權益の上にも重大なる變化を來し、もはや古き觀念をもつて、新事態に處すべきではなく、附屬地行政權の調整乃至移讓は、わが特殊權益の縮小どころではなくて、在留邦人の對滿發展を、從來の局地的であつたつを、さらに全滿的に擴大解放するものであるとの、眞實なる認識に徹底することにおいて、さらにいはんや、日滿不可分緊密關係を强化し、兩國民の融合を徹底し、滿洲國の發達を助勢すべき、一大操作であることにおいて、もはや何等異議のあるべき筈のないのは勿論である。

×　×

過去三十年間にわたつて滿鐵が經營して來た、地方施設としての土地および營造物一億八千萬圓中、學校ならびに病院を除いて大部分を滿洲國に移讓するわけであるが、これを有償とすべきか無償とすべきかは、重大なる問題であり、現に滿鐵と滿洲國側とはこの問題の折衝で暗礁に乘上げてゐる模樣であるが、滿鐵は地方施設が有形的財產として計上されてゐる以上、これを無償で讓渡することはバランス・シートに急激な變動を及ぼすばかりでなく、株主との關係において頗る面倒なる處理を要するが故に、是非有償でなければならぬと主張し滿洲國側では法權撤廢に關する全面的準備のために、財政的に頗る多事多難の際であるし、何等收益を生ぜざる地方施設を有償で引繼ぐことは甚だ困難である、ことに滿鐵は國策會社のことでもあるから無償で讓渡されたいと主張してをり、双方ともに理由のあることゝて、結局政治的解決の手段に出るの外なからうとされてゐるが、一面において滿鐵資產狀態を損ふことなくこれを解決すべき方法として滿鐵が從來地方施設經營のため年々經營費一千萬圓餘を支出してゐるのであるから、滿洲國に移讓後、支出が不要となるべきこの年額一千萬圓をもつて、逐次償却することとしては如何との說もある。

×　×

さらに、地方施設が滿洲國に移讓された後、その經營費の支辨について、これを如何にするかも相當重大問題といふべく、從來滿鐵ではこれが經營には五百二十萬圓の公費の收入では到底足らないので他に一千萬圓餘の補給金を支出して、經常費を賄つて來てゐるが、附屬地の課稅による滿洲國の收入增加は約七八十萬圓程度と見積られてゐるに過ぎないから、滿洲國財政としては莫大なる赤字を免れないことが想像され、この財源の捻出については、やはり滿鐵から別途經費、獻納金等の名目で從來の補給金に相當する額の支出を求めるか、あるひは課稅の形式でこれを滿鐵に賦課するかの外なかるべしとされ、しかもこの問題は直接に施設移讓の有償無償とも關聯を持つて來るので、兩者は頗るデリケートな關係に置かれてゐる。

×　×

附屬地行政權の調整移讓並びに地方施設の滿洲國移讓に伴ふて、滿鐵地方事務所、圖書館、水道その他地方施設に所屬する一般從業員約一千二百名、および學校關係從事者一千五百名合計約二千七百名は、地方施設の移讓を終るまでには、滿洲國ならびに各地教育組合にそれ〴〵轉出せなければならぬことゝなり、滿鐵としてはこの退職慰勞金だけでも約五百萬圓に上るだらうといはれてゐる、さうしてこの角度からも、滿鐵機構改革は愈々その斷行に向つて迫車を加へるであらうことは明瞭である。(水口生)

朝鮮武德會 弓道四段まで承認

【京城支局發】大日本武德會朝鮮本部の昇段審査範圍はこれまで一般武道五段以下但し弓道は三段以下と限定され、弓道のみが他と比肩出來ぬ狀態に置かれてゐたが近時半島の弓道熱は柔劍道に優るとも劣らぬまでの勃興を示してをり殊に全北山田範士をはじめ吉田(平南)藤野(京城)尾崎(同)川崎(釜山)諸氏の錚々たる敎士を擁して審査會の構成にも何等條件の欠ぐるものがないので、武德會朝鮮本部では昨年來京都本部に對して之が範圍擴張方につき極力運動を續けて來た結果愈よ本年より弓道は四段以下の審査を認めらることに決定、半島の弓道精進者たちに一大福音をもたらし、これによつて從來相當の經費をかけて京都まで出かけねばならなかつた審査も朝鮮內で手輕に受けられることになつた

範、教、錬士資格所有者 總數一八一

【京城支局發】目ざましき進境と不斷の精進を續けてゐる輝しき半島武道の誇り、範、敎、錬士の資格を有つてゐる武道家は現在總數一八一名の多數によつてゐるがこれを各武道別にすると

▲劍道=範士一、敎士一一、錬士九四
▲柔道=敎士二三、錬士四一
▲弓道=範士一、敎士五、錬士一
▲銃劍術=錬士二
▲居合術=敎士二、錬士二

で合計範士二名敎士三十九名錬士百四十名となつてゐるなほ有段者は劍道千七百餘、柔道千七百餘・弓道約三百、銃劍術二十餘、居合術數名、水泳術約十で總數三千八百名を超ゆる盛況である

朝鮮商議 定期總會六月中旬開催

【京城支局發】朝鮮商工會議所の定時總會は全國商議理事會開期の都合もあり本年は例年より早めに來る六月中頃京城商工會議所に開催する豫定であり而して本年の總會では常議員(京城、仁川、平壤、元山、大邱、木浦、釜山の七會議所)全部任期滿了に付總改選が行はれるが群山、淸津その他に野心家ある模樣で成行は注目されてゐる

家庭

まやかしの多い…貴金屬や寶石類

檢定つきを指定しなさい！

知つておかねばならぬその智識

近年百貨の何物にも、品質內容に著るしい變化を認められますが、その中でも貴金屬品は主要材料たる金が再禁輸以來騰貴したのですから、その材料、意匠等にまで

變化が著るしく

なつたのは無理もなく、需要者はこの邊のことをよくわきまへてゐないと玩具にもならぬインチキものを掴ませられないとも限らないのです、事實そんな品物は澤山製作されてゐるのですから油斷なりません。裝身具の材料と云へば白金と金と寶石とですが、白金は今も尙、商人の多くは純白金製といふことを申しますが、裝身具に使はれる大部分は、この金屬と合金することも、今日の金の如くであることを辨へておくことです、時計側、寶石入指環、ヘナーピン等がそれで、合金は無論白金の質を硬く丈夫にするのが目的なのですがその度を超えた粗惡なものも多く見受けられるのです。

金はこれまで

「金即ち十八金」の觀がありましたが、十八金で所謂値頃の品物を造ることは、今の金はあまりに高價ですが、而も十八金製品は氾濫してゐますが、これは當然無理をして居るのです、即ち十八金の値頃品には、タメに良いものは勘いといふことを辨へておくことです。

裝身具の材料

に、十八金をもつとも多く使用するのは支那と日本だけで歐米では高級品に十四金を、大衆向には十金或は九金を使はれるのが普通で九金のダイヤ入指環等といへば我國では見られませんが、アチラでは ザラにあるやうです。裝身具の材料として、十四金や九金がもつとも多く使はれるやうにならなければウソです次に

寶石類として

は、人工寶石と養殖眞珠が大部分を占め、人工寶石には科學的に天然に劣らない金成寶石と、これの模造品とがあります。極安物はガラスか水晶の加工品です。十八金なれば五分以上、十四金、九金であれば四分以上の品物は知らぬ間に寶石が脫落し易く、一度外れたら玄人でも完全に復舊は不可能とされてゐます。萬事は活動的な現代の女性には特に丈夫さが必要でせう。金時計は裏蓋を指頭で輕く押へ、容易く凹むやうなのはケースが器械を保護して居るのではなく、器械によつて辛うじて時計の形を保つて居るのであることに氣をつけて下さい。カフス釦は需要者が大部分インテリ階級である關係からか、意匠にも丈夫さにも

斷然十四金物

が光つてゐます。九金製品に追々優れたのが出かかつてゐますが、平凡な安物をする位なら寧ろ金張りで我慢することです。そこで結論として、貴金屬品を買ふに忘れてはならぬコツをお傳へしませう。それは「檢定付」と指定することです。

滿洲託兒所主催 慈善演藝大會

日滿花街ネオン街を動員

四月三日より公會堂で

滿洲託兒所創業十周年記念日滿聯合慈善演藝大會は來月三日の祭日と翌日の土曜日兩夜市內吉野町の公會堂で開演する。後援は滿鐵社會課、滿洲國協和會、新京特別市、社會事業聯合會、新京各婦人團體、在京日滿新聞社、出演者は日滿花街、ネオン街の人々と歌舞音曲の師匠連で前景氣も既にすばらしいものがある。決定した兩日のプログラムは左の通り

▲初日(三日)

▲紅雁術書、說大鼓、蓮香班荷花、鈴花
▲曉山救母、說大鼓、雙玉班三立、滿堂
▲到荊洲、黃金台、西施女、饑寒院、全福、金順、美娟
▲小唄「三千歳」立方、扇芳亭、たから、レコード
▲小唄舞踊「旅の人形師」すみれ小川席花千代、藤間勘多郎師振付、杵屋十七郎師後援

▲新舞踊「お染」立方千丸、藤間勘多郎師振付、杵屋十七郎師後援
▲童踊「ニャン〳〵踊」やよい大橋のり子孃、藤間勘多郎師振付
▲舊劇「鳴戸」お弓富士高田氏、お鶴山本ます子孃、妙天國友政子、妙林西山敏子、十郎兵衛ミス東洋前畑氏、淨るり田中相生太夫、三味線益田仙糸師
▲「羽根のかむろ」立方田中內、小千代唄萬龍、同五郎、同小照、同勇、同若丸、三味線、同〆治、同巴、同小龍、同茶良助
▲「梅の榮」立方藤井內、はがき小太郎、地方德千代、千代吉、千太、幾松、ひろ香、百々代
▲小唄舞踊「鳥追ひお市」すみれ內花千代、藤間勘多郎師振付、杵屋十七郎師後援
▲「花がたみ」立方扇芳亭、たから唄笑香、同京千代、同笑丸、三絃てるは、同から子、同照若
▲「探陰山」「黑殿」「珠簾寨」大觀樓大桂、喜鈴、月紅
▲「秋の色種」立方小野喜代秀師、三味岡安喜代枝師、同開花小仙、同岡安喜代登記師 同開花靜江、岡安喜代艶師
▲新舞踊「お夏」立方すみれ千丸、藤間勘多郎師振付
▲小唄「色氣ないとて」立方扇芳亭たから、唄てる蝶、絃笑香、藤間勘多郎師振付
▲時代劇「雪の夜話」原作小山內薰、演出尾崎忠、父稻葉、金次郎禮子、昌子、娘早苗、捕吏麻里
▲舊劇「壺坂靈驗記」澤市淸美、お里韜子、雁九郎よし子、觀世晉叶子、淨るりマスター前畑氏、三味線益田仙糸師、ツレ引小太郎(寫眞)出演後見の藤間勘太郎師、杵屋十七郎師、出演の曾我酒家主人田中相生太夫、サロン富士のマスター高田氏
▲ミス東洋のマスター前畑氏、扇芳亭のから子、笑丸、京千代、笑香、てる蝶 たから、小川席花千代 千丸、千鳥、千代吉、德千代、百々代、曾我酒家小照、巴、外に山本ます子孃

今日の話題

▲二十九日は宮城縣の國幣中社志波彥神社の例祭日。

▲今の神田川の掘割工事は二百七十五年前萬治四年の三月二十九日に竣工したと「殿中日記」や「伊達家記錄」に見えてをります。仙臺の伊達綱宗が十ケ月の日數を費してこの運河工事を完成させたのであります。

▲上海事變中我が空閑大隊長が悲壯な死についたのは昭和七年の今日でありました。

▲幕末の勤王家平野國臣は陰曆の今日が誕生日で、文政十一年筑前に生れてゐます。

▲イギリスの探險家スコットが南極探險中吹雪に遭難して遂にたふれたのも三月二十九日で西暦一九一二年、即ち二十四年前の出來事でした。

ラヂオ けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局) 廿九日(日曜日)

朝

六、三〇 建國體操(滿語)
六、五一 ラヂオ體操(東京)
七、一〇 氣象通報(大連)
七、一五 家庭向滿語短期講習(レコード) 原田龍一
八、三〇 子供の時間(東京)
九、〇〇 日曜動行(京都) =臨濟宗天龍寺派西芳寺より中繼= 導師並法話 管長 關精拙
九、四〇 趣味講演(東京) 春のヒマラヤ 石崎光瑤
一〇、一〇 子供の時間(滿語) 趣味講話 怎樣作聰明的賊 宋伯陽
一〇、四〇 淸唱 擊鼓罵曹 老生 鴻聲 胡琴 李樹元 二胡 逋俊和
一〇、五九 時報(東京)
一一、三〇 ニュース(東京)
一一、五〇 講演=全日滿中繼(哈爾濱より) 北鐵接收後の哈爾濱 哈爾濱鐵路局長 佐原憲次

晝

〇、二〇 チエロと管絃樂(大阪)
〇、四五 映畫劇(大阪) 刺青奇偶 長谷川伸・原作 片岡千惠藏 千早晶子
一、二〇 三絃主奏樂(東京) 松本兼輔 外
一、三絃二部合奏 組曲作品第四 平岡次郎作曲
イ、本調子 序曲と行進曲
ロ、二上り メヌエット
ハ、三下りタンゴの圓舞曲
三絃一部 竹若雄二郎 杵屋廣次
同 杵屋正次
三絃二部 杵屋一次
二、三絃獨奏曲 作品第五 平岡次郎作曲
三絃獨奏 米川敏子 伴奏箏 佐藤貴久子 ピアノ 平岡次郎
一、五〇 新日本音樂 一、夢 二、春の初花 三、光輝 久本玄智作曲 尺八 秋元鷹山 箏 長野雅基
二、五〇 經濟市況(東京)
三、〇〇 ニュース(東京) 引續き ニュース
五、〇〇 子供の時間(東京) ラヂオレビュー 花錦 東京子供グループ

夜

六、〇〇 ニュース(東京)
六、二〇 今晩の番組、氣象通報、明日の番組
六、三〇 ラヂオドラマ(東京) =銀座交詢社講堂より中繼= (演劇連夜三種第一夜)
七、三〇 浪花節(大阪) 噫無情 ビクトル・ユーゴー原作 秩父重剛脚色 玉川勝太郎
八、〇五 連續ラヂオ小說(東京) 雪之丞變化(續篇)三 三上於菟吉・作 守田勘彌
八、三〇 時報、ニュース(東京)
八、四〇 ニュース、氣象通報(滿語) 番組豫告
九、〇〇 舊劇 金鎖記 協和國劇社票友
配役 竇娥 淸秋閣主 蔡母 春江漁隱 禁婆 劉濟民 場面、翟瑞麟 外
九、四〇 講演(鮮語) 同胞農村の當面問題 崔活
一〇、〇〇 北滿の時間(哈爾濱)
一、講演 「ゲルマン作・林の中の小屋」ペトリン 音樂伴奏
二、ニュース

お料理獻立

豚肉南蠻漬

季節がよくなりまして野遊びにお辨當もちでお出かけになることも多くなりますこれはその樣な時のお菜にも向くものでございます

【材料】(五人前) 豚赤肉六十匁、日本葱一本古生姜少々、メリケン粉少々、揚げ油少々、酢、醬油各大匙一杯半、酒、砂糖各大匙一杯、調味料少々

酢、醬油、酒、砂糖、卸し生姜、調味料で合せ酢をつくり豚にメリケン粉をつけて揚げたもの へ葱をのせ上からかけます。

猿之助、新響が合同 ラヂオドラマ『オセロー』

坪內博士の最新譯三幕三場 演出は河竹繁俊

【後六・三〇銀座―交詢社講堂中繼―】

「オセロー」は一六〇四年にシエクスピアがイタリーの小說家ジラルヂ、チンチヨンの物語集から取材して創作したもので、全體は五幕十五場からなつてゐる。主題は吾々の日常生活の家庭些事に關し、ストオリーも比較的單直である。即ち家庭悲劇式、日常悲劇式である點がその特色であり、同時にオセローやイアーゴーといふ性格から來る性格悲劇である。「ハムレット」の晦澁さ、リヤ王の悲哀「マクベス」の熱情などには及ばないとしても、その自然味、日常味に於ては、一段とすぐれてゐるといへよう。沙翁學者中にも此の作品を所謂四大悲劇の第一位に置くものが少くない。オセローといふ人を信じて疑はない性格、が佞奸な邪智にたけたイアーゴーといふ性格のために、あはれにも死の穴に落されてゆく悲劇である。此の劇は日本でも已に幾度も上演されてゐるが今度ラヂオでは作品中の第二幕第一場、第三幕第三場、第五幕第二場を、坪內博士の最新譯によつて、市川猿之助外と新交響樂團が合同して放送することになつた。そしてこの解說編輯、演出などを河竹繁俊氏がする。

昔ヴエニスにオセローと呼ぶ智勇の譽れ高きムーア將軍がゐた。彼は元老議官の娘で才色兼備のデズデモーナと結婚した。時恰もトルコの大艦隊がサイプラス島に攻めよせるといふ報があり、オセローは鎭壓總督として任命された、そこで新婚の新婦は相伴れだつて同島に赴くことになる。この頃オセロー將軍にはイアーゴーといふ邪智にたけた旗手があつたが。彼は若き同僚キヤッシオーが副官に任ぜられてゐるのでそこに大きな不滿を抱いてゐた。同時にヴエニスにロダリーゴーといふ若い紳士があつて、デズデモーナを深く愛して容れられず、そのとりもちをイアーゴーに依賴して來たので、イアーゴーは此の時とばかりにキヤッシオーを亡きものにせんと、紳士と協力して怖ろしい奸計をたてた。オセローがサイプラス島についた時トルコ艦隊は一夜の暴風で難船してしまつたので、將軍の結婚祝ひを兼ねて盛大な宴が開かれた。イアーゴーはキヤッシオーに酒を無理强ひしてロダリーゴーに喧嘩をせしめる、このためにキヤッシオーは假總督のモンターノーをさへ傷つけ、遂に副官を免ぜられる、そこでイアーゴーはキヤッシオーにデズデモーナに賴めとすゝめる。キヤッシオーはひそかにデズデモーナを訪れて依賴するのである。一方イアーゴーは妻のイミーリヤ(デズデモーナの侍女)によつてデズデモーナのハンケチ(オセローが結婚の時贈りしもの)を手に入れ、之をキヤッシオーの室に落し置きそれを拾はしめる。オセローは妻のデズデモーナがキヤッシオーを同情すればする程、彼の女とキヤッシオーとの間を疑ふのである。かくしてイアーゴーの奸計は見事に成功してゆく。イアーゴーとロダリーゴーとはキヤッシオーを闇討ちにするが、反對にロダリーゴーが殺される。オセローは深夜ひそかにデズデモーナの寢室に入り、彼の女を縊殺する。こゝへイアーゴーの妻イミーリヤが來て凡ての奸計を暴露してしまふのである。しかし時已におそし、オセローは愛するデズデモーナの魂を蘇らすことは出來ない。自らの一突によつて死んでゆくのであつた。

〜配役〜

役	出演
オセロー	市川猿之助
その妻デズデモーナ	中村芝鶴
グラシヤーノー	市川段四郎
モンターノー	澤村源十郎
ロダリゴー	市川米五郎
紳士一	片岡市藏
同二	市川呵猿
同三	市川中三郎
イヤゴーの妻イミーリヤ	岸輝子
イヤゴー	市川八百藏
合唱	中村淑子 他に從者等
獨唱	
ヴオカル・フオア	
管絃樂	新交響樂團
音樂指揮	坂西輝信
演出及解說	河竹繁俊

ラロのセロ協奏曲とマスネーの管絃樂

お晝を賑はす音樂番組

後〇・二〇 大阪より

チエロ 吉田貴壽
大阪放送交響樂團
指揮 福喜多鎭雄

吉田氏は日本音樂學校出身現大阪ラヂオーケストラ部員にして山田耕作氏モギレフスキー氏等激賞の若き天才チエリストである。

……吉田貴壽さん

一、チエロ協奏曲
【ニ短調】 ラロー作曲
第一樂章プレリユド・レント・アレグロ・マエストーゾ
ラローは一八二三年リイユに生れ一八九二年巴里に逝つたフランスの作曲家である。彼は歌劇の外、交響曲一、ヴアイオリン協奏曲三、絃樂四重奏曲一、ピアノと絃樂の三重奏曲三、其他を書き、其等は皆ラロー一流のリズムと色彩で優雅と力を具備したもののみで實に彼は十九世紀の最も個性的な藝術家の一人であつたといふことが出來やう。このニ短調チエロ協奏曲も傑れた作品の一つであるといへやう、ラローの天賦の才はこの表現の危險な旋法にかゝはらず遺憾なく發揮せられ、その構想手法の透徹してゐること、オーケストラの音響の均衡に對する深い造詣、各樂器の適當な使驅、而もその取扱ふ事物に對する精密且つ正確なタッチに依つて表現せられる色調に對する天賦の才は實に驚くばかりである。本曲は三個の樂章から成るが本日はその第一樂章だけを演奏する。第一樂章は力强いレントの序述をなす前奏の後、情熱のこもつた主題と次に續く柔かい女性的な旋律とがまことによい對照を描く

二、管絃樂

組曲「繪畫的情景」 マスネー作曲

(イ)晩鐘
(ロ)ボヘミアの祭

情熱的な美しい旋律で知られた近代フランスの大家マスネー(一八四三―一九一二)が書いた七個の組曲中のその第四に當る有名な組曲がこの「繪畫的情景」である。曲は一八七四年に書かれたもので四曲から成るが今日演奏するのはその中の二つである。「晩鐘」は丁度ミレーの繪にある樣な夕べに響く鐘の音に農夫達が手をやすめて敬虔な祈りを捧げる樣を描いたものと見られる。「ボヘミアの祭」は賑やかに陽氣なボヘミアの收穫を祝ふ祭の舞踏を寫したものかと思はれる。

文藝浪曲、近頃高尙 ユーゴーを消化す！

玉川勝太郎さんの"噫無情"

後七・三〇 大阪より

玉川勝太郎さんは本名名渡金久明治二十九年の東京生れ、第七中學を中途退學十八歳より初代勝太郎に師事し、玉川次郎の名で二十三歳の時眞打披露をなし昭和五年二代目勝太郎を襲名す文藝浪曲の創作に耽る。ボリドール專屬本篇の脚色は秩父重剛氏による。

フシ「釣瓶落しの秋の日が早黃昏れて風寒き、茲はフランス・テーニュの街に、鳥は眠るに塒あり、犬も宿るに小舍あれど、廣い世間に人一人、小舍も無ければ食もなく、飢と寒さに顫ひつゝ、心は着物のそれよりも尙ぼろぼろに疲れ果て、ジヤンヴアルジヤンは何處に寢る、夜は冷たゝ噫無情時は一八一五年の十月、重なる罪で十九年間暗い獄舍で送つたジヤンヴアルジヤン、けふ許されて出るに出たが、過去を語る黃色の旅券は獄舍以上の苦痛を與へて空腹と疲勞のジヤンに失望と怨嗟を與へた。情け厚い人と敎へられてミリエル僧を訪ひ、温い饗應に萎びた心が狼狽へる

フシ「飢えた體に食を執り涸れた心に情の泉、胸のつかへは揉みほぐされて、うつとり聽する花園の、影なき鬱の春の唄、そもや人生のはゞ中端、暗い冷たい牢獄の、板に眠つたジヤンヴアルジヤン、慣れぬ情の寢臺は、返つて眠れぬ悲しさに眞夜中頃にふと目を覺まし來し方行末思ふ時、我が半生を費して、握りし金は何ぞ、今宵此家で目につ いた銀の皿への誘惑を、いざと促す時計の音、我にもあらず立ち上る、其心根を責めるが如く、月光斜めに窓を洩れ罪の兩手を照らせども狂ひし駒の夢さめず、善と惡との總なく、時と共に夜は明ける、日は暮れ去りて狂ひなく、其夜も明けて鳥啼けど、ジヤンヴアルジヤンの影いづこ

……玉川勝太郎さん

翌朝、ミリエル僧正の銀の皿は、ジヤンヴアルジヤンに盗まれてなくなつて居た、だが間もなくジヤンは憲兵に捕へられて僧正の前に立たされた僧正の救ひの手はジヤンの顫へる五體に伸び、憲兵は僧正の證明で彼を許して立去つたジヤンは始めて太陽の暖さを身內に感じて今更の如く僧正の慈顏を仰ぎ見るのであつた

フシ「何處より來るか此光呪ひと憎みの影溶けて、見れども兩眼に、我は何處に立てるやら、ジヤンヴアルジヤンは譯知らぬ、胸の嵐に天も地も、喘らくらとゆれ動く心に何時しか神を知り、之より苦難に勝つと云ふ噫無情のお粗末はこれに止める

"雪之丞變化" 「第三回」

守田勘彌演

【後八・〇五東京より】

雪之丞の仇討は一歩々々とすゝめられていつた、子飼ひの番頭長崎屋三郎兵衛は、同じ仇の一味同業の、廣海屋のために計られ氣が狂ひ、同じ一味の濱川を手にかけて殺しに仇同志が、亡びゆく。お互ひに仇同志が、亡びゆく。仇の主魁土部三齋の娘浪路は雪之丞を慕うて、家出し土部三齋の權勢は衰へ、家出した浪路は雪之丞に逢ひたく、乳母の伜と、雪之丞の旅宿を訪れんとして、父の家來で同じ仇の橫山を手にかけ、闇太郎に救はれ、雪之丞に護られて、死んで行く。この亡骸を闇太郎は三齋の屋敷へ運ぶ。浪路の死によつて、公方のおとがめをうける。その時、雪之丞ははじめて松浦屋の伜、雪太郎と名乘り、江戶にゐた土部三齋一味を討ち仆し父の仇を討つ。

お晝の…新日本音樂 新京から

後一・五〇

尺八……秋元鷹山
箏……長野雅基

……秋元鷹山さん

▽秋元鷹山氏は昭和六年十月都山流准師範に登第京都に於て專門師匠として斯道に精進せしが昭和八年八月渡滿齊和會及滿鐵社員邦樂會の講師として新京を中心に滿鐵沿線各地に活躍する北滿唯一の都山流專門師匠である、本年二月師範昇格

▽長野雅基氏は東京正派家元につき生田流箏曲を學び昭和九年夏准師範試驗に登第し其後學理講師新曲講師として各地に出張し正派評議員、會計正派誌の編輯主任として活躍せしが本年三月家元の使命にて滿洲派遣公主嶺を中心に北滿各地に活躍を期してゐる

……長野雅基さん

一、夢

久本玄智作

夢の跡の淋しさを表現せる靜寂なる樂曲、尺八が主奏で箏を伴奏

二、春の初花

田中忠正作歌
久本玄智作曲

四季の初花の內にて春の初花を歌謠曲として作曲したものである

(歌詞)春の初花白梅の薰りぞ床し二三輪窓邊によれば如月や空まだ寒く月朧

三、光輝

久本玄智作曲

圓舞曲形式に作曲されたもので潑溂として伸びゆく前途を祝福し朗らかな氣分を織り込んだものである

學藝

ポーランドの踊子（上）

細川　明

ダンスホール・モンテカルロには春の跫音が流れて居た。天井からたれた岐阜提灯、ホールの中に春の近づいたのを知らしめて居るのがある。

ぼくはぼんやり、京都大學の心理學科の講師をして居る友人から、久しぶりの手紙をうけ、もう京都にも春が訪れてきた、丸山公園の夜櫻も間もない事だらう、それまで、一度歸つて來ないか、二年ぶりで祇園情緒でも一緒に味つてみたいからと云ふ文面を想ひ「祇園の櫻」を想ひうかべてみると、一種のノスタルヂャらしい氣持が、踊り狂つて居る幾組かの群をながめて居た。

ひどく憂鬱そうだね

一緒にきたI君が云つた。それを輕く受けたがして、苦笑して居ると、搜して居たM君がどやどや歸つて來る男達の中から出てきて、

「疲れた」と云ひながら、ハンカチが額の汗をふいて居たが、ビールでも飲もうとぼく達をうながして、圓形になつて居るスタンドの方へ進んで行つた。

ビールを飲んで居ると、一人の女ー彼女は異國の女だつたーが僕の側に近づいてきて紅茶を注文して居る。

ー新人だね

I君は僕の顔とそのダンサーの顔をながめて云つた。

ー英語はひどくうまいよ

M君は云つた。

ー日本語は

ー出來ない。

ーそいぢや、苦手だね

とI君は微苦笑を顔にうかべ、僕に話してみよと彼の目が囁いて居た。さうらながされると話して見る氣になつた

ー何時きたの

ー一週間前

ー面白い

ーえゝ

ー名前は

ーミラー

ースペリングは

ーMILA

ーその意味は

ー名前ですもの、意味なんてないわ

ー君ロシア人

ーノー・ポーランド人

ーボーランド人

ーえゝ

僕はその瞬間世界地圖を腦裡の中に畫いた歐洲大戰の導火線はポーランドの一青年の射つた一彈丸に依つて開展されたんだ。獨逸の側だなと考へて居ると、地圖は消滅してしまつた。そしてポーランドの踊子の顔をぢつと眺めた。

ー英語はうまいね

ーサン・キュー

ー新京に居るロシア人は大抵ブロークンできゝにくいって弱るんだが、君の英語は確かにうまいよ

ーモチ、あたし、ミッションスクール卒業したんですもの。

ー實際、彼女の發音にしろ、イントネイションにしろ正確だつた。

ー日本へ行つたことある

ー行つた事あるわ。山田耕作はあたしの音樂の先生よ。

ー音樂の先生だつて、山田さんは英語はうまいの

何んと云ふ愚問を發する人だらうと云ふ顔付で

ー英語、出來ないと思つていらつしやるの

ーさうぢやないけど

ーうまいわよ。英語で敎へて異れるんですもの

ー日本人好き

ーモチ、だから、あたしこのホールへ來たんぢゃないの

ー小說好き

ーえゝ

ーロシアの作家の讀んだ事ある

ーあるわよ。トルストイの作品好きよ、あなたは……

ードストウエスキー、チーホフ、ツルゲネフ、ETC.

大抵讀んでるよ。

と答へて、誰かポーランドの作家が居ないかと想ひ起して見たが、どうしてもうかんでこなかつた。確かエレン・ケイ女史はポーランド人だと思つたので

ーエレン・ケイの『戀愛論』を讀んだ事があるかね

ーないわ。スプリングは如何

撰は指で書いて示すと、あゝ、解つた、それエレン・カイと讀むのよと云つた。

僕はその發音を知らないわけではなかつた

廚川白村博士は彼の『戀愛論』の何處かで、エレン・カイと讀む方が正確であることを指摘して居たのを記憶して居た。

それから、彼女はポーランドの作家を、僕にきゝなれない作家の名前と音樂家の名前を話した。

ー君には氣の毒だけれど、誰も知らない。

ーさう、是非、一度讀んでごらんなさい、

側に居たI君は先程からつゝと聽いて居たが突然

ー君、いくつ

ー十九

ーあゝさうか、十九の春だね

と日本語で云つて笑つた。

ー若いんだね

ーしえ赤ちゃんと同じよ。

それから、I君は身振りで體格の發達して居る事を示した。彼女には、I君の云つて居る意味が解つたらしく頷いて見せた。

鯉

鰓木沙禮

噴き上げが魚らを眠らせない。睡蓮の仄かな色が、魚らの瞳の中に咲く。

雨もよひの水盤の片隅で、鰭が夕ぐれの思念を漾はせる。

般若心經（十一）

鹽谷壽石

文曰「舍利子」

官場現形記（20）

李寶嘉作　山泰裕譯

ー第二回の十ー

所で、吳贊善といふ男の話であるが、彼はずつと前から趙溫の實家がどの位の世間的地位なのかをちやんと肚の中に心得てゐた、朝邑縣の大地主で、相當澤山の小作人がゐるといふことをである。だから趙溫がやつてくれば、その包み金は少くとも二三百兩がとこはあらうと打算してゐた男か帖子を持つて這入つて來た時、彼は今まさに夢から醒めたばかりで、未だ蒲團の中にゐたのだが、〝趙溫〟といふ名前を聞くと、直ぐに書齋に彼を請じ茶をいれるやうに言ひつけた。年老ひた男はそれを理解した。そして、彼は用心深く訊いたものだ。「包み金は持つて來たかな?」

話してゐるところに、年老ひた男は二兩の包みを帖子といつしよに女中に持たせてやつて來た。細君が受取り、重さを計つてみて、口さきで「たつた二兩らしいよ」といた。吳讚善はそれを聽かずに濟んだらよかつたのだが、これを聽いた以上は、慌てて滑るやうにして寐床から跳び下り、上衣も引つ掛けずにつかつかとやつて來てそれを開いてみた、果然それは銀二兩であつた。心中、何か物を落したやうな氣持であつた顔色が忽ち變つてしまつた。稍あつてひよつこり笑つて言つた。

「こいつあ門番に異れた包みを持つて來たんぢやないのかあの趙つて男は相當金持なんだ、たつたこれ位を寄越すなんてことは斷じてない筈だ」

老人は笑つて言ふには

「あたしらの方には四弔だけ貰ひましたよ。趙つて人ははつきりと包み金は二兩ですと申して居ります」

吳贊善はこれを聞いて、本當に怒つてしまつたものである、怒鳴つて叫んだ。

「突き返してしまへ!! こんな二兩ぐらゐ貰つて米代の足しにする積りなんかおれにはないんだから、面會謝絶だと言ひ渡せ!!」

さう言ひ乍ら、プンプンになつてまた元の寐床に這ひ上つて行つた。

年老つた男は仕方が無いので、趙溫の待つてゐる部屋へやつて來て主人に代り

「今日はお客にはお會ひになりません、折角いらしたのですがね」

そして帖子は机の上にあつさり置き、二兩の包みは持ち去つたのである。

趙溫はスカを喰つた氣持ですつかりショゲて、憂欝げに門を出、車に乘つて歸つて行つた。

錢典史は歸つて來た趙溫を迎へて尋ねたものである。

「どうしてそんなに元氣が無いのかね、會ふたかね?」

趙溫は言つた。

「今日は會はないつてことだつたのです」

「それぢや又明日行くさ。」

翌日になり、又しても早朝から起きて出掛けた。あの老人が出て來て、取次もせず長いこと受付部屋で待たせたあとで、趙溫に斯う言つたものである。

「あんたもう歸つた方が良いでせうぜ、そして明日からはもう來ないやうにね!」

趙溫はそれを聽いても、心中意味が判らなかつた。どうした譯か、訊かうと思つたのに、彼は更に被ひ蓋せるやうに言つたものだ。

「あたしはもう直ぐ出掛けにやならんのだから、此處に長くみちや困りますよ」

趙溫は仕方なく、昨日と同じに車に乘つて家に歸つた。錢典史は彼が又しても會へずに歸つて來たのを見て、これには何か曰くがあるぞ、といふことが判つた。それといふのは、趙溫に持たしてやつた包み金が問題かなといふことも頭に浮んだのであつた。（つゞく）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局究一部御送附相成度し（係）

▲奉天商工月報（三月十五日號）動く奉天の經濟事情、奉天市場に於ける林檎、經濟時報、經濟市況、所報等（奉天加茂町三、奉天商工會議所、五十錢）

▲新シボレー（三月號）乘用車紹介號、一九三六年シボレー乘用車の新特徴、運輸業經營合理化の基礎、シボレー小唄など四六倍四十八頁に盛つてゐる宣傳誌（東京市京橋區築地三ノ八、新シボレー雜誌社、三十錢）

▲家庭と園藝（三月號）七十號記念の特別號である本多博士「職業を道樂化せよ」以下園藝記事多數、本文七十九頁（東京市世田谷區松原町三ノ八六五、家庭と園藝社、二十錢）

▲岡山縣（三月十五日號）タブロイド本文十四頁、無統制の岡山市政、和氣清麿公と岡山縣その他（岡山市南方町二四七、岡山縣社、二十九錢）

▲滿洲經濟情報（三月十五日號）調査に「滿支を中心とせる商業航空の現勢」「大連中央市場の實質と特異性に就いて」資料四篇、特別記事「滿洲國人視察團成功の要諦」時事四篇、雜報等（大連市敷島町八二、日滿實業協會滿洲支部、十五錢）

▲雄辯（四月號）この雜誌の良さは、現代青年のために最も大事な狙ひ所を廣汎に集めてゐる所にあらう批判的に見るならば大いに役に立つ、小林知治の「北支に活躍する三人男」は板垣、土肥原、多田の三將軍の痛快な場面を書いて相當に刺戟的だ、大陸政策の遂行者としての性格の型をわれらは學び取り得る、「働きながら大學に通ふ學生の座談會」これも、失業者の增大の中に惠まれた條件を考へて讀めば役に立つ、林二九太の諷刺小說「バンカラ優等生」も現代的居候の成功した一つの型を示してゐる、渡部一英の飛行機全盛時代の展望その他廣告の通り（東京市小石川區音羽町三ー一九、大日本雄辯會講談社、六十錢）

赤ベン放送室

▲何に腹が立つのか知らぬが、新京探題を稱する大内監雄、酒が廻ると何となしに暴れ出す、先日もダイヤ街の某カフェーで醉ふにつれて大聲叱呼其うち給が止めたのが氣に入らぬとて雪洞を碎くやら卓子を引繰り返して歩くやらの大トラ振り▲ラヂオドラマの鈴木、帝都の村井、及川クン、それに近東、和田の大供たちが總がゝりで洋車に乘せて歸宅させたが濟まん〳〵全くと我が事のやうに平詑りコボの後、近東嘆じて曰く『全く手のかゝる子供ぢや』とコボスこと

新刊・新着圖書

- ○支那研究論稿　山口愼一著　政治經濟篇　近々發賣　二、〇〇
- ○中國經濟年鑑　國民政府實業部編　二十四年　上・中・下　一八、〇〇
- ○舊都文物略　北平市政府編　一〇、〇〇
- ○中國農村經濟資料　馮和法著　續　四、八〇
- ○中國保甲制度　聞天鈞著　四、二〇
- ○法律大辭典　鄭競毅編　三册　八、四〇
- ○中國年鑑創刊號　英文　一九三五ー三六　三〇、〇〇
- ○中國政治思想史　陶希聖著　四册　四、八〇

御申込はハガキ又はお電話下されば直ぐお届けします

新京吉野町四ノ十二康德ビル內　青年書局（電三、三七七六番）

眼を護り
視力を増す
新眼科藥

スマイル

スマイルに輝く明澄な視線！
潑剌と展開する我等の生活！

塵風・煤煙・強烈なる光線の刺戟など眼病の原因の充満せる環境に住む現代人にとつて、優秀眼科藥による健眼工作こそは生活明朗化の第一歩です！

―早春と眼―

春先きは人體の諸器官に何かと異常の起り易い季節ですが、就中多いのは眼の故障です。これは冬の間、寒風に曝され、塵埃や病菌の侵襲を受けた眼が春の明るい陽ざしに出會つた爲に起り、又春につきものゝ砂塵が知らず知らず眼に入つて起ります。眼病に脅かされる機會の多い現代人は、

この轉換期に當り、努めて適確な健眼工作を施すことが肝要です。例へば、眼瞼が炎症を起して充血腫脹し、眼脂で眼が塞がりゴロ／＼し、光線が眩しくて耐えられぬ時（結膜炎、俗に言ふハヤリ目）、黒眼が濁り、ホシが出來、視力が衰へ眼く腫爛した時（角膜炎、所謂ホシ目）などは、痛い痛いからとて手でこすつたりせず、局所を

清潔にし、スマイルを一日三、四回點眼すれば、強力な殺菌、收斂、消炎作用で速かに恢復します。又あの嫌はしいトラホームも大抵は小學生時代の不衛生が原因で感染し一生不快の種となるものですから、入學を控へたお子様のある御家庭等では特に御注意が必要です。その豫防には平素眼を清潔にし患者に接近せぬこと、治療には早期に電法を施すと共にスマイルの防腐消毒作用を活用することが賢明な策です。

眼精疲勞――これは解剖學上、眼と腦とが如何に密接な關係にあるかを如實に示す眼疾で、殊に春先きには屢々神經衰弱樣の症狀を以て現れます。例へば執務、讀書等の際に眼が疲れ易く物がボンヤリ見え、次第に頭痛さへ覺え、遂に不眠に陷るのです。この場合には眼に休息と榮養を與へることが第一で、日常視力の酷使に走り易い現代人は執務勉強の時は勿論、映畫鑑賞、外出等の前後にもスマイルの點眼を怠らぬのが最も合理的な手段でせう。

スマイルは、獨特の正確な處方調劑により各種眼疾を快適に治療・豫防する許りでなく、視神經の疲勞を除いて視力を強化し、眼の充血溷濁を除いて健康美溢るゝ明眸を調へる特効を兼ね備へてゐますから、近代生活の伴侶とするに最も適はしい高級眼科藥なのです！

容器の特徴！

琥珀色の硬質ガラス瓶と銀色のキャツプから成る瀟洒なスマートネスです。指先で瓶底を輕く打つ樣にすると一滴一滴が快く眼に入る自働點眼式です！
（定價）廿五錢・四十五錢・全國藥店・百貨店にあり

主効
眼精疲勞・結膜炎・角膜炎
トラホーム・眼瞼炎・充血

蘿北縣附近國境で ソ聯騎兵又々越境
滿人商人二名を不法拉致
本年第二回目の暴擧

【ハルビン國通】廿八日當地某所着電によると三江省蘿北縣城居住滿人商人三名は十九日午後五時縣城西北方十五里の太平溝に向ふ途中同地南方二キロの地點にて越境入滿せるソ聯騎兵十四五名のためソ領內に拉致された、尙同縣では本年に入り第二回目の不法拉致で既に四名の滿人が拉致されてゐる

八卡北方で滿ソ衝突
原因はソ兵の滿人不法拉致

【ハルビン國通】當地某所着情報によれば、廿六日夕刻三河八卡北方二キロの愛琿河滿領內中州にソ聯兵二名が越境し來り同地にて薪伐採中の滿人二名を拉致した、その際對岸にはソ聯兵十餘名が待機し監視してをつたところより見て全く計畫的不法行爲と觀られる、仍つて右事件調査のため廿七日附近國境監視隊より太田少尉以下廿名出動八卡北方に向ふやソ聯兵十名は突如無警告にて射擊を浴せたため同調査隊も已むなく應戰、敵は更に輕迫擊砲二門を有する廿餘名が增援し來れるも太田少尉以下の奮戰により擊退した、なほ本戰鬪により太田少尉は脚部に重傷を負つた

ハルハ河北部地區事件の謝罪と
責任者の處罰要求
外交部外蒙に嚴重抗議

去る二十四日ハルハ河北部支流北方地區に於て惹起せる外蒙兵の不法射擊事件に就き張外交部大臣は二十七日夕刻外蒙外相ゲンダン氏宛左の如き嚴重抗議電報を發し謝罪並に責任者の處罰を要求した

三月二十四日午後五時頃ハルハ廟東南ハルハ河北部支流の北方地區を巡ラ中の日滿部隊は突如外蒙側陣地より猛烈なる射擊を受けたるため已むを得ず應戰し日沒を待つて哨所へ歸還せり、右戰鬪に於て日本兵一名戰死せり、我國領土に屬すること明白なる「ハルハ」河北部地區を巡ラ中の日滿部隊に對し突如射擊を加へ戰死者を出さしめたる外蒙側の赦すべからざる不法行爲に對し我政府は最も嚴重に抗議し謝罪、責任者の處罰を要求すると共に將來の保障に關する要求權を留保するものなり

長嶺子事件に關し
外交部ソ聯側に抗議

廿六日朝長嶺子事件に關し外交部では現地調査の結果、ソ聯國境警備隊が不法射擊を加へると共に越境せる事實が明白となつたので今明日中に北滿特派員を通じ駐哈ソ聯總領事スラウッキー氏に對し嚴重抗議することになつた

兩將軍の會見

植田軍司令官は日滿大官並に各機關出迎へ裡に廿八日午後二時着特別列車にて着任、南大將と握手を交し直ちに官邸に入つた（寫眞は官邸に於ける植田司令官と南大將）

ライン地帶再武裝の 信任投票へ
在奉獨人四十名が出發

【奉天國通】ドイツ政府はラインランド再武裝問題の渦中にあるヒトラー總統の施政方針に對し本廿九日午前六時より午後六時迄の間に本國全土に亘り信任投票を行ふ事となつたので、在滿ドイツ人は偶々大連にドイツ汽船三隻が入港するのを利用し同船に搭乘して領海外に出て投票を行ふ豫定である而して奉天よりはローゼン領事外廿一歲以上の男女約四十名が廿八日午後一時十九分奉天發はとで大連に向ふが全員贊成投票を行ふものとみられて居る

〝滿洲〟情緒〝・高脚〟踊を 日本內地に紹介
四月十四日一行廿名渡日

【大連國通】滿洲情緒豐かな高脚踊を日本に紹介して廻らうと云ふ計畫が此程大連觀光協會の手に依つて實現される事となつた、一行は總勢二十名森宮市役所囑託に引率され四月十四日出帆の扶桑丸で大連發、先づ博多を振出しに甲子園、名古屋、四日市、岐阜、富山等の博覽會開催地及び六大都市を行脚して廻り五月上旬歸連の豫定である

兩事變行賞
大村副總裁に一括授與式

【大連國通】滿洲、上海兩事變の勳功に依り滿鐵社員に賜りたる勳章は廿八日午前九時半より滿鐵本社三階會議室に於て賞勳局酒井少佐より大村副總裁に一括授與式が擧行された、滿鐵では敍勳者全部を廿八日附社報を以つて發表し卅一日本社に於て勳六等以上の敍勳者に對しては松岡總裁より直接本人に傳達式を擧行その他の敍勳者に對しては各部長より同日大々的に傳達することとなつた

犯罪百貨店捕る

原籍岐阜縣揖斐郡春日村住所不定電工職所吉郎（二五）は先月七日から三月十八日まで曙町四丁目圓宿新京閣に止宿先月分の宿泊料を拂つたまゝ三月になつて一日分も支拂はずおまけに隣室の森山某名儀で勝手に飲食店平凡からうどん七圓程をとつてゐることが判明、屆出に接した朝日通派出所前田巡査が日本橋通り八十三番地大信洋行裏口から所が出て來るのを發見逮捕、派出所に同行取調べると所はさる十八日新京閣を出てから以來こゝ十日間毎夜大信洋行四階（ベランダ）の露天に寢起してゐたと自供したのには係りの前田巡査もびつくりしてゐる、なほ餘罪が數ある見込みで本署に連行した

新京防空獻金額

三月廿八日現在に於る新京防空獻金額左の如し

▲獻金申込累計額 十九萬二千四百六十四圓十錢

內譯

イ、地方事務所側受付 四七、八〇四、一八

ロ、特別市公署、居留民會側受付 一二五、九八一、四二

ハ、新京支部既往受付 一、六七八、五〇

移民花嫁七八名 花婿の許へ

【圖們國通】之れが本當の北滿に於る春の訪れのトップであらう、拓務省第二次移民の入植地依蘭縣湖南營に向ふ妙齡の婦人國、即ち第二次移民諸君の花嫁御寮たち何んと七十八名の一團が豫定より一日遲れ北鮮經由で廿六日午前十一時三十分の列車で圖們に着いた、引率者は依蘭縣に出來てゐる新潟村々長德永態太郎氏である、圖們驛頭はいとも朗らかな風景を點出し何れも若い女性のこと、至つて元氣な顏を揃へ官民有志の手厚い接待裡に茶、湯、お辨當などの饗應に舌鼓を打ち十二時の圖佳線列車で牡丹江に向つて出發した

撻馬溝共匪潰走

【ハルビン國通】既報根木討伐隊の中島部隊は廿六日撻馬溝西南十二キロの密林中にて共匪と合流せる九標匪と激戰一夜を徹して戰鬪を續行中であつたが廿七日拂曉我部隊長を先頭に山寨攻擊を敢行、遂にこれを擊退し引續き追擊中である、敵の遺棄死體五十、我方の損害左の如し

▲戰死 長瀨德一少尉（岐阜縣）中島忩三大尉（名古屋市）▲重傷 平井守俊上等兵（名古屋市）石川澤一等兵（名古屋市）高橋英一二等兵（一ノ宮市）稻本圭一二等兵（名古屋市）▲凍傷 水谷弘二等兵、楠一等兵

裁判長の異動で
相澤中佐裁判は新規蒔直し

【東京國通】相澤中佐の軍法會議公判は今回の事件のため延期となり法定期間十五日も經過したので軍法會議法第三百九十七條に依り公判再開の場合は審理の更新を要する事となつて居たが裁判長たる步兵第一旅團長佐藤正三郎少將は去る廿三日を以て待命となつたので其後任には騎兵第二旅團長內藤正一少將が任命される事となり廿八日官報で發表された、仍つて更に軍法會議法第三百九十八條の適用を見る事となり公判は豫審を起點として全く新規蒔直しとなり再開の場合は審理を改めてやり直す事となつた

傷病兵午後凱旋

北滿各地の聖戰に名譽の負傷をうけてたほれた白衣の勇士三十二名は二十九日午後三時四十分ハルビンより新京に到着、同四時新京衛戍病院よりの勇士二十三名と合して大連經由凱旋の途につく

全日本學生軍を迎へ 卓球試合開催
來る四月五日商業講堂で

全日本學生卓球聯盟は三月二十三日帝都出發征途に就き目下朝鮮各地を轉戰中であるが當地へも來征し一戰を交へる事となつた、試合日時は四月五日午前十時新京商業學校講堂の豫定 兩軍のメンバー左の如し

（遠征軍）
監督 赤尾 得男（早大）
マネージャー 深田 久典（同大）
主將 川村 澄（立大）
選手 田村 金造（日大）
〃 安井 臨（京大）
〃 奥田 正一（關大）
〃 島村 榮一（早大）
〃 今 孝（早大）
〃 青木 泰雄（明大）
〃 劉 天頤（立大）

（滿洲國軍）
監督 渡邊 勇（需品處）
主將 土村 勝喜（電々）
選手 成田 政雄（中銀）
〃 富田 四郎（電々）
〃 作花 種次郎（需品處）
〃 海野 正平（財政部）
〃 千田 謙三郎（中銀）
〃 三木 政朗（需品處）
〃 揚 鴻起（中銀）
〃 周 開亭（吉黑權運署）
〃 劉 遠崎（交通部）
〃 王 桂棠（司法部）
〃 劉 繼[illegible]（交通部）

尙今回は特に大滿洲帝國體育聯盟贊助會員以外の一般觀覽者に對しては會員券二十錢にて開放する筈同券は市內各運動具店にて取扱ふ

國內統一と國際化の爲
運動用具を公認

滿洲國體育聯盟では國內スポーツの統一を期する爲この度運動用具公認の制を設ける事となりその型式及び公認規定に就て研究中の處此程之を決定したので廿八日午前十時ヤマトホテルに日本の各運動具製造業者代表を招待して右規定を申し渡した、仍つて製造業者は見本を製造して五月十五日迄に體育聯盟に對し公認指定の申請をなす事となつたが之に對して聯盟側では先づ檢定委員會を任命し之で檢討した上理事會を開いて公認指定の最後的決定をなす筈であるがその曉には公認運動具には滿鐵の印が捺される、右公認用具の規定は大體に於て世界オリムピックのそれを標準としてゐるのでこの度の公認制度に依つて運動用具の國內統一が達成されると同時に滿洲國の各種競技が國際性を持つて來る譯である、尙ほ廿八日申し渡した公認規定は足球、籃球、排球、拉式足球、網球（硬軟）ドッヂボール、占球（硬軟）、野球（軟）の各使用球であり、陸上競技使用品に就ては追つて規定を定める筈である

本社 文藝座談會
けふ午後二時X喫茶店で開催

恒例本社學藝部主催「文藝座談會」は學藝面既報の如くけふ午後二時より七馬路市營アパート內X喫茶店において開催するが、なるべく多數出席を歡迎する、會費五十錢

興中公司初商內
豆粕五萬枚福建省へ

【大連國通】興中公司では今回滿鐵東亞課、支那海軍駐在武官、總領事等の斡旋に依り福建省農業合作社との間に豆粕五萬枚の商談成立、第一回二萬枚は去る十六日唐山丸で又第二回三萬枚は廿五日嵩山丸で夫々發送を終つたが、同公司初取引として注目される

近海郵船重役決定

【東京國通】近海郵船會社では二十七日定時株主總會を開き取締役會長各務鎌吉氏及び取締役大橋新太郎氏任期滿了に就き改選の結果兩氏とも辭任し、取締役會長後任には取締役大谷登氏（日本郵船社長）が昇格し取締役には新たに渡邊水太郎氏（日本郵船副社長）及び櫟木幹雄氏（日本郵船專務）が就任する事に決定した

營林實務實習生 派遣さる

滿洲國の林政は着々として堅實なる歩を進めつつあるが、實業部では今回日本政府殊に農林省の絶大なる好意を得て鄭國富以下十九名の滿人を現在林務職員中より選拔し營林實務實習生として日本に派遣する事となり一行は廿八日午後四時新京驛發列車にて出發した、一行は一路朝鮮經由東京に到着、農林省其他關係機關に挨拶の上農林省指定の營林局に配屬せられ具さにその指導下に實務を研究した上一ヶ年後に歸國する筈

ホテル業務 監査終へ
宇佐美課長語る

【大連國通】滿鐵では旅館經營以來最初のホテル業務監査を行ふため宇佐美旅客課長、四方旅館係主任が新京、奉天、五龍背等の直營各ホテルに出張中であつたが兩氏は廿七日右監査を終つて歸連宇佐美課長は左の如く語つた

始めての業務監査であつたが外人を主とする旅館は滿鐵直營でなければならぬといふ結論に到達した、滿鐵旅館中にはまだ不充分なものがあるので徐々にこれを改善し同時に滿洲旅館の改善指導の立場から各種料金の引下げも實施する心算だ

弘報協會 設立委員會 組織成る

滿洲の言論機關統一の使命を帶びた弘報協會は愈よ設立されることゝなり、二十六日午後一時より軍人會館に於て設立委員會が開催され左の如く委員長、委員を組織、法制、經理の三部に區分決定した

▲委員長 板垣少將

▲委員 關東軍側 稻村中佐 松澤大尉

關東局側 青木高等警務課長

滿洲國側 星野財政部總務司長 長尾警務司長 宮脇情報處長 平井出郵務司長

滿鐵側 林庶務課長 横山地事副所長 富田監査役

總局側 加藤資料係主任

協會側 高柳滿洲英字社長 村田滿日社長 染谷[illegible]京社長

青井勇氏死去

祝町二丁目青井文藻堂、青井正一氏令弟勇氏は豫て京都東福井寺赤十字病院に入院療養中のところ遂に二十七日午前七時永眠した、同氏は大正六年渡滿當地美術界の草分けとして貢獻するところ尠からず大いに前途を囑望されてゐただけに各方面からその死を惜まれてゐる、享年三十三才、葬儀は三十日午後四時から祝町高野山金剛寺で執行される

探偵小説 殺人技師（上映上演）　森下雨村 作　夢場紫水 畫

五七　五里霧中（一）

白鳥座の座員ヘンリー松崎の話や、あの晩、築地から赤坂の東亞ホテルへ、更に三田の屋敷町まで被害者の須磨子を乘せていつた自動車の運轉手の證言などを綜合すると、須磨子と同乘していつたのは、確かに菱原良治に相違なかつた。

しかし、では、その菱原良治が何者であるか——といふ段になると、警察でもまるで雲をつかむやうに、全然見當がつかなかつた。

白鳥座の座員の話によると、育ちのよい大家のお坊ちやんらしい青年で、いつも襟と袖に、黒の縁取りをした瀬茶地の外套に、山高帽をかむつてゐたといふ。しかし、唯それだけのことで、この廣い東京から、唯一人の人物を發見するのは、一寸困難なことだつた。

ヘンリー松崎の話しでは、菱原良治といふその名前も、どうやら變名らしいとのことである。人事興信録をくつて、菱原姓の家族を調べてみても、正しくそんな名はなかつた。赤坂の東亞ホテルや、芝浦の昭和ホテルも、調べてみたが、菱原といふ姓にはまつたく心當りがないとのことだつた。

とに角、白鳥座の方にしても、晉羽アパートの監理人にしても、須磨子を送つて來た青年が、菱原良治であることは知つてゐたが、それ以上、彼が何者であるかといふ段になると、まるで返答をすることが出來ないのだつた。

かうなつて來るとあの晩、晉羽アパートで菱原良治を取逃がし、あまつさへ、彼の正體を知る唯一の手懸りともいふべき寫眞を、引裂かれた黒澤刑事の責任は、益々重大になつてくるのだつた。

既に菱原良治の正體を知つてゐられる讀者諸君には、警視廳のこの錯覺振りが、如何にももどかしく思はれるかもしれない。しかし、と同時に、諸君は、良治がいかに注意をして、その身分を隱してゐたかといふことを、よく記憶してゐられる筈である。

いや、まだ、菱原良治が如何なる正體を持つ人物であるかといふことを知つてゐる者が一人ゐる筈である。いはずと知れたこと、それは作者である。でも作者や讀者の他に、こゝに唯一人、菱原良治の正體を、おぼろげながら察してゐる人物がある筈だ。いふまでもなく、それは良治——即ち讓治の父清水檢事だ。ではその清水檢事は、一體どうしてゐるのだらう？

彼はわが子可愛さに、この重大な秘密を自分の胸一つに包み隱してゐるのだらうか？

さういはれても仕方がない。清水檢事はあの晩、晉羽アパートから歸つて來ると、どつと枕もよらぬ病床についた。そして高い熱のあひだに、時々不思議な囈言をもらすばかり——。しかし、その囈言の中に、恐ろしい事件の秘密がこもつてゐようと時々は見舞にくる黒澤刑事もさすがに氣がつかなかつたのである。

かうして清水檢事が、その口を緘してゐる以上、菱原良治かとりも直さず檢事の一人息子清水讓治であるといふ秘密を語るものは、この世の中にたつた一つしかない筈だ。

そして讀者諸君は、それがどこにあるかを知つてゐる。

警視廳——さうだ、それは警視廳の一室にあるのだ。ユンケル酒場から押收して來た樣々の證據品の中にまじつて、須磨子と讓治の寫眞がある筈なのだ。彼等が必死となつて探してゐる怪青年の顏が、つい眼と鼻の間にありながら、それに氣づかないとは、何んといふ不思議な皮肉だつたらうか——。